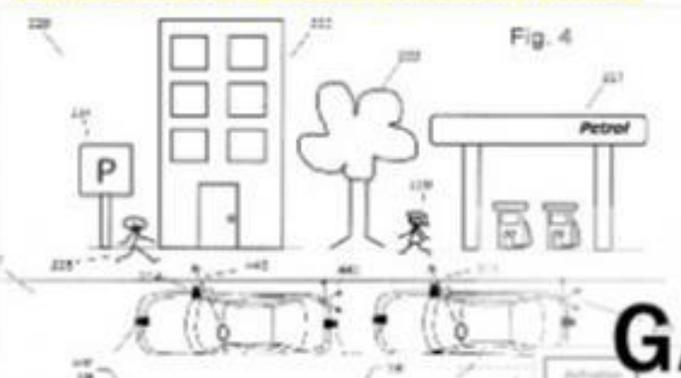
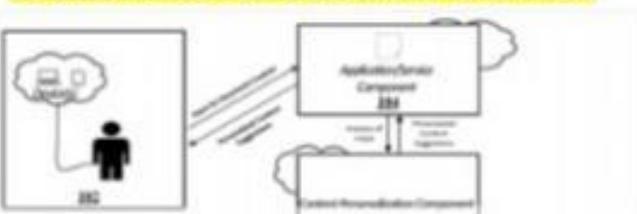


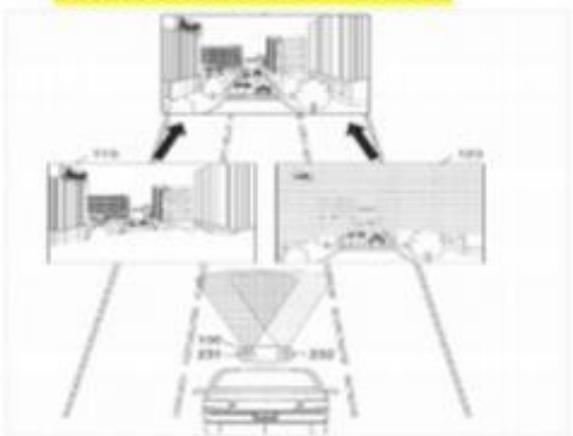
Method and System for Providing At Least One Image Captured By a Scene Camera of a Vehicle



PERSONALIZATION OF CONTENT SUGGESTIONS FOR DOCUMENT CREATION



ELECTRONIC DEVICE AND METHOD FOR PROVIDING IMAGE OF SURROUNDINGS OF VEHICLE



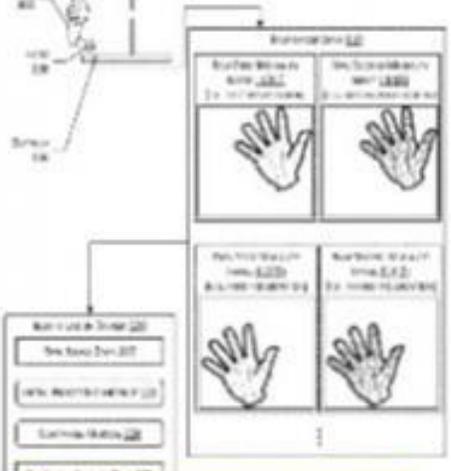
techtrend seminar 2021/1

# GAFGAはじめ先進企業 最新の公開特許を読む

System and Method for Rapid Activation and Provisioning of an Electronic Payment Device



NON-CONTACT BIOMETRIC IDENTIFICATION SYSTEM



CONTENT DISPLAY CONTROLS BASED ON ENVIRONMENTAL FACTORS



Smartphone-based Radar System  
Detecting User Gestures Using Coherent Multi-look Radar Processing



SHARING IMAGES AND IMAGE ALBUMS OVER A COMMUNICATION NETWORK



# 講師紹介

1996年立命館大学工学部電気電子工学科卒業。

1998年立命館大学大学院理工学研究科情報システム学博士前期課程修了。

1999年弁理士登録。

2003年Birch,Stewart,Kolasch,&Birch,LLP(米国Virginia州)勤務。

2005年Franklin Pierce Law Center (米国New Hampshire州)知的財産権法修士修了。

2007年特定侵害訴訟代理人登録、清華大学法学院(北京)留学。中国知的財産権法夏期講習修了。

2009年～日本国際知的財産権保護協会(AIPPI)「コンピュータ・ソフトウェア関連およびビジネス分野等における保護」に関する研究会委員。

2010年北京同達信恒知識産権代理有限公司にて実務研修。

2011年～東京都知的財産総合センター専門相談員。

2012年～日本IT特許組合パートナー

2016年MIT(マサチューセッツ工科大学) Fintechコース受講

2018年MITコンピュータ科学・AI研究所 AIコース修了

言語:英語、中国語



# 著書



中国特許法と実務  
経済産業調査会



FinTech特許入門  
経済産業調査会



ブロックチェーン3.0  
(共著)株式会社エヌ・  
ティー・エス



AI/IoT特許入門2.0  
経済産業調査会



世界のソフトウェア  
特許改訂版(共著)  
発明推進協会



AI (1)



AI (2)



blockchain



cyber security



AIビジネス戦略  
～効果的な知財戦略・新規事  
業の立て方・実用化への筋道  
～(共著)  
情報機構

パテントダイジェスト(Kindle版)  
AI編、ブロックチェーン編、サ  
イバーセキュリティ編

# ビデオ講座

TECHTREND SEMINAR



インダストリアルIoTと  
サイバーセキュリティ

日本IT特許組合 / 河野特許事務所

ヘルスケアを改革する  
ブロックチェーン

日本IT特許組合 / 河野特許事務所



Techtrend Seminar

IT特許セミナーシリーズ

アップル、  
ヘルスケア企業に！  
特許事例から  
動向を読む

日本IT特許組合 / 河野特許事務所

アップル社のヘルスケア企業への参身の  
一端として同社のヘルスケア関連特許から  
話題のタイトル数例をわかりやすく  
解説します

TECHTREND SEMINAR

ユニコーン企業  
その新技術/新サービス  
と特許

日本IT特許組合 / 河野特許事務所



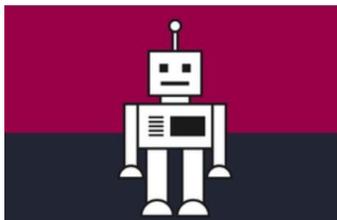
米国先進スタートアップ：  
小売、広告関連  
スタートアップ企業と特許

Techtrend Seminar



店舗とオンラインの境界がなくなりつつある中で  
AI、VRなどのテクノロジーを駆使して実店舗に  
展開するスタートアップ企業のサービスと特許を  
ご紹介します。

日本IT特許組合 / 河野特許事務所



Techtrend Seminar

進化する  
チャットボット

日本IT特許組合 / 河野特許事務所

日本IT特許組合 / 河野特許事務所

業界に変革をもたらす  
AIスタートアップ100社

セールス・マーケティング

Techtrend Seminar

米国CBInsight社の  
「業界を変革するAIスタートアップ100社」から  
この分野の企業の技術や  
サービスについて  
その代表的特許を  
紹介します。



Techtrend Seminar

ブロックチェーン、  
どんな分野でどのように  
使われている？



ブロックチェーン技術の活用例

日本IT特許組合 / 河野特許事務所



Techtrend Seminar

ヘルスケア、  
ライフマネジメント  
そしてセキュリティ

日本IT特許組合 / 河野特許事務所

Techtrend Seminar

Fintech/AIを  
使って変革した  
サービスモデル

日本IT特許組合 / 河野特許事務所



「先進企業の新サービス・新技術と特許」 <https://itpat.jimdo.com/>

## ご紹介特許 タイトルと権利者

【車両周辺の興味データ取得】Apple

【Amazon One】Amazon

【写真シェアリングの効率化】Google

【車両内のモバイルデバイスの位置特定システム】Apple

【文書作成のためのコンテンツ提案のパーソナライズ】Microsoft

【写真上のノイズ除去】Google

【スマートフォンベースのジェスチャー検出レーダシステム】Google

【ノイズキャンセリングドローン】Amazon

# Apple特許 車両周辺の興味データ取得

特許出願人 Apple Inc  
出願日 2020年7月24日  
公開日 2020年11月12日  
公開番号 US2020/0358984

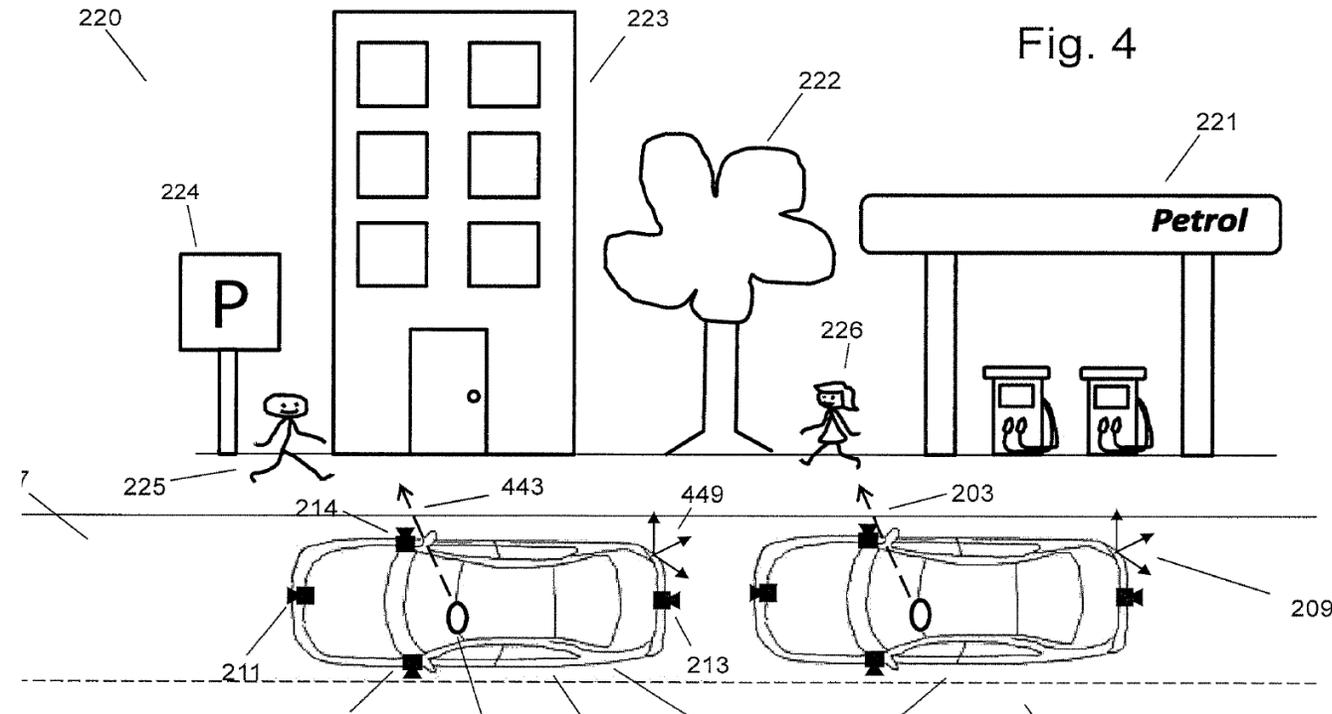
車両のシーンカメラによってキャプチャされた少なくとも1つの画像を提供するための方法およびシステム

車両走行中、周囲にはドライバーの興味を引くものが多い。

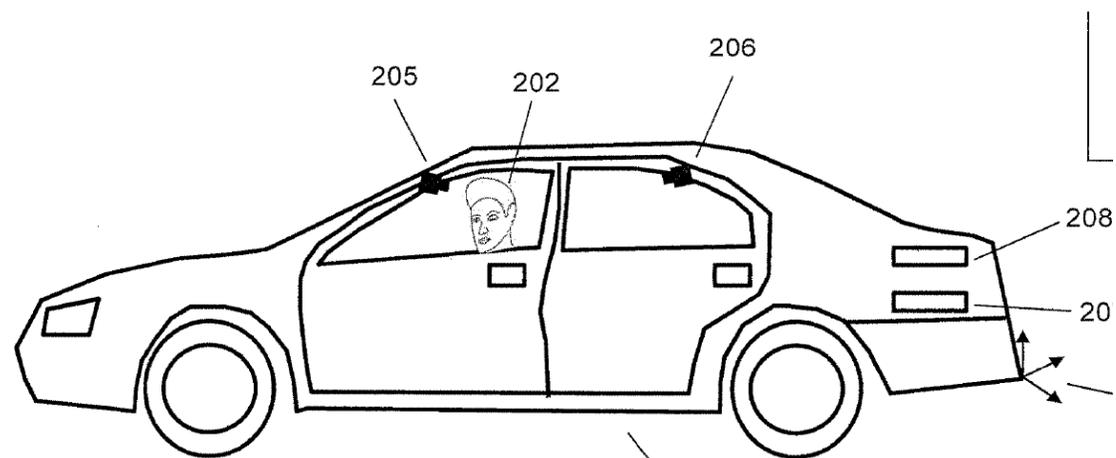
しかし運転中に、iPhoneを取り出して、撮影するのは危険である。

本発明はドライバーが興味あるものを自動で収集するアイデア

車両には周辺を撮影するカメラが設けられている。



## Apple特許 車両周辺の興味データ取得



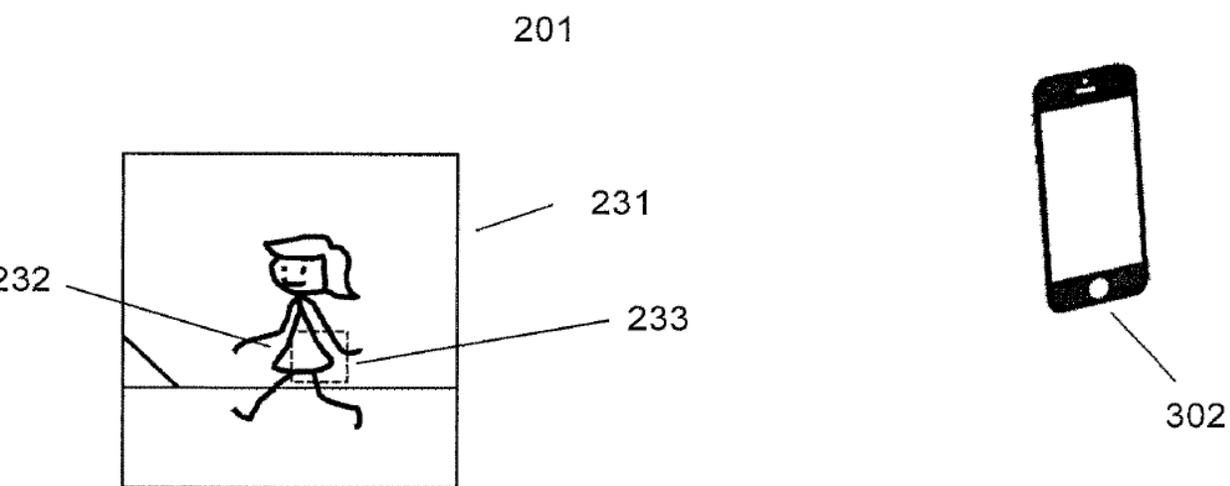
車両にはドライバーの視線方向、表情を検出するカメラが設けられている。

車両はドライバーの興味のある方向を特定する。

特定した方向の車外カメラから、興味対象領域の画像を取得する。

提案方法1: スマホに画像を取り込み表示し、また商品の購買サイトを開く

提案方法2: MAP上に、興味対象と位置データを記録する。



# Amazon特許 Amazon One

特許出願人 Amazon

出願日 2018年6月21日

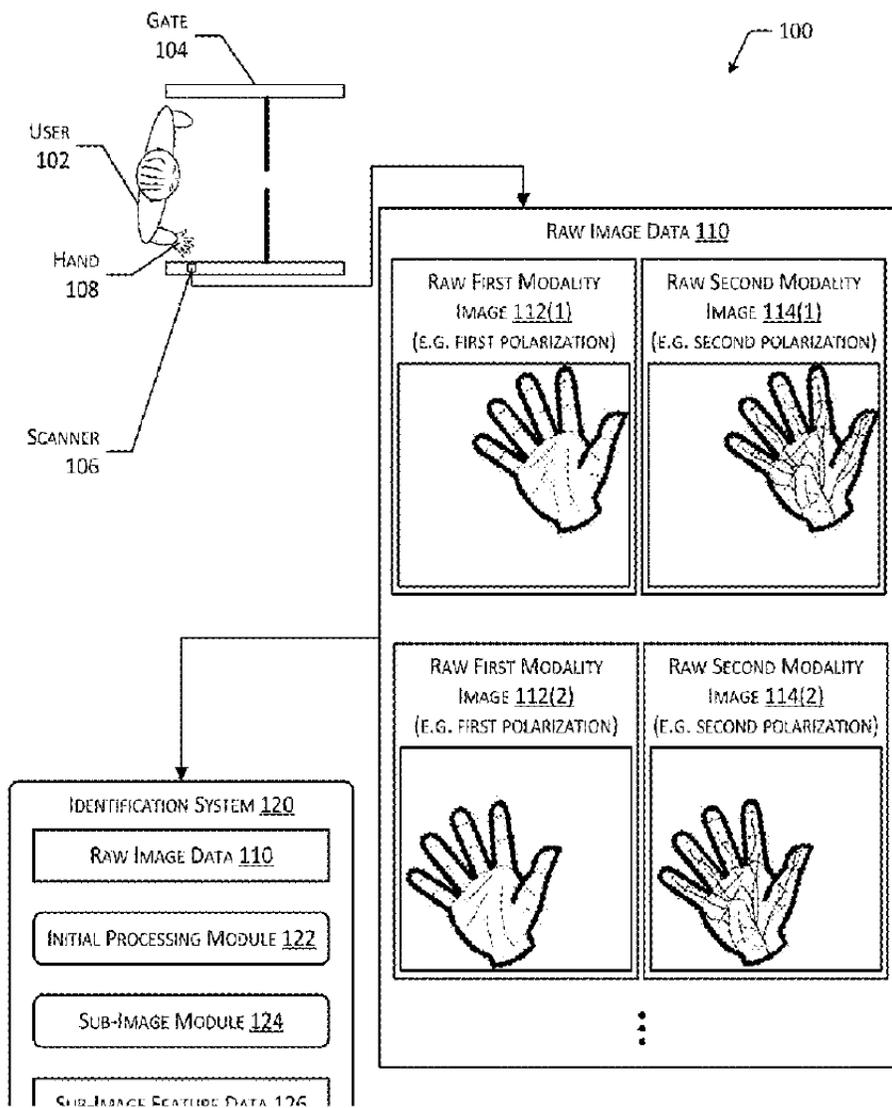
公開日 2019年12月26日

公開番号 US2019/0392189

## 非接触生体認証システム

クレジットカード、電子マネー、バーコード決済等、キャッシュレス化は進んでいるが、決済のための持ち物は増加している。

AIを活用した手のひら認証を行い、Amazon Go(無人店舗)、Amazonでの決済に活用する。

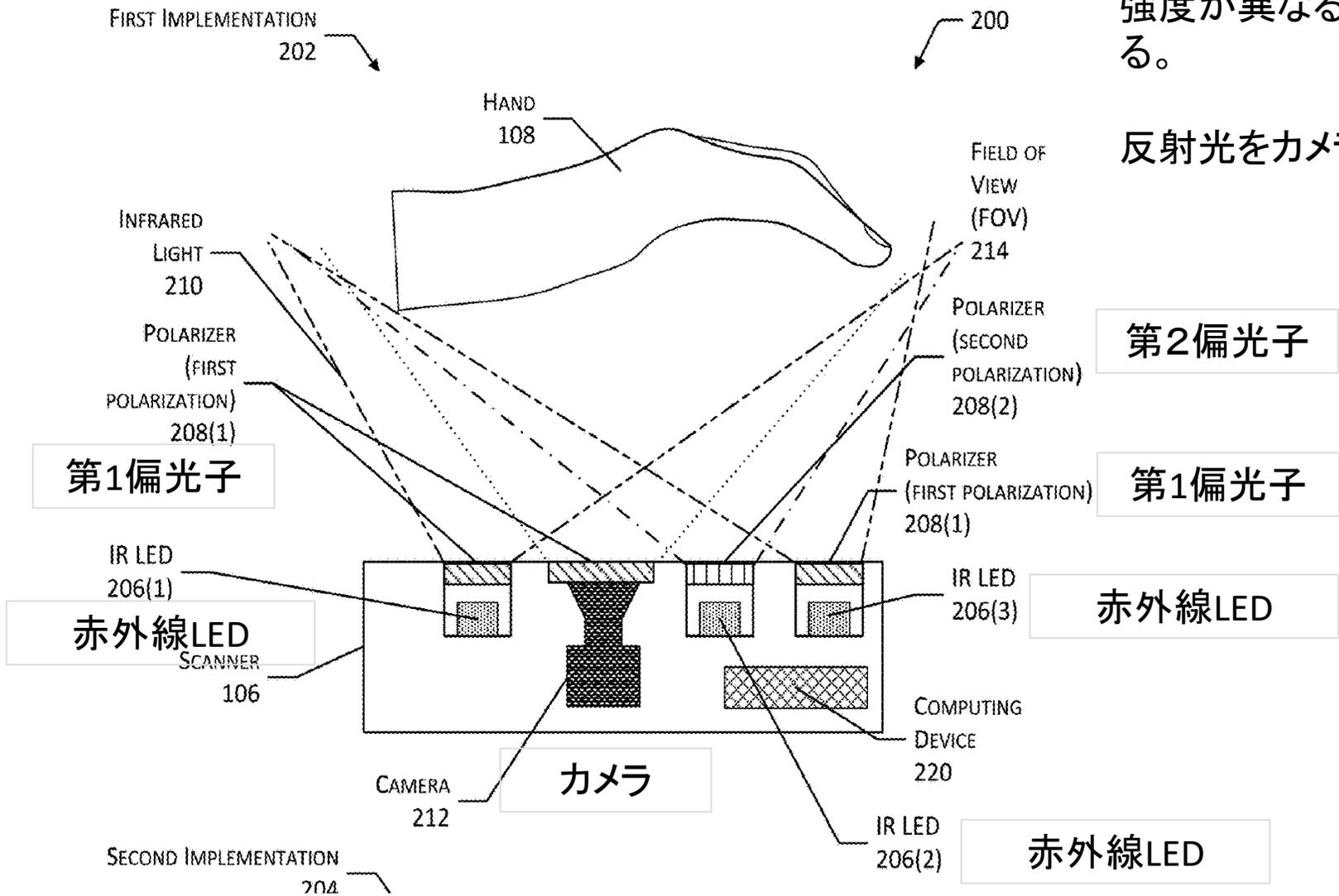


# Amazon特許 Amazon One

## ハードウェア構成

赤外線LEDから手のひらに向けて赤外線を照射する。  
強度が異なるよう、第1偏光子、第2偏光子の2つを設ける。

反射光をカメラで取り込み解析を行う。

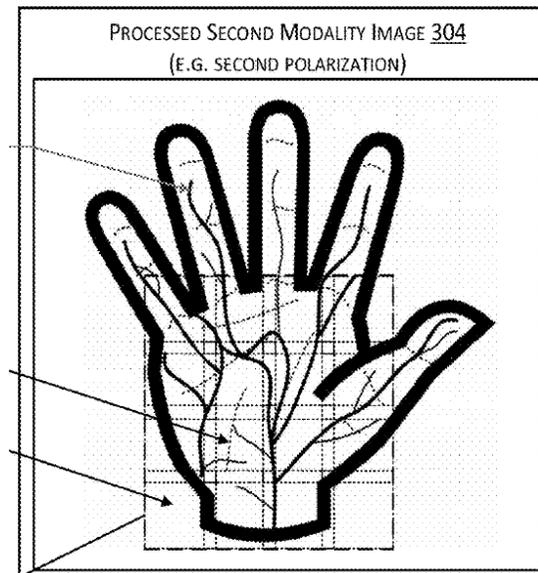
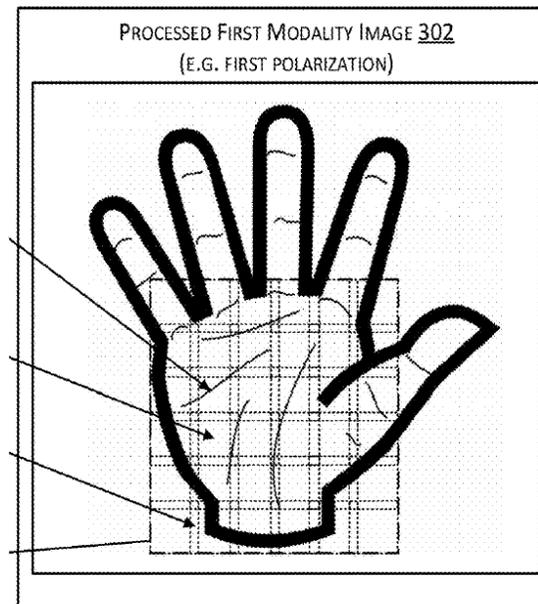


第2偏光子

第1偏光子

赤外線LED

赤外線LED



第1偏光子を通じた赤外線を手のひらに照射し、手の平の皺に関する反射光を取得する

第2偏光子を通じた赤外線を手のひらに照射し、手の血管に関する反射光を取得する

第1反射光についてエリア毎に第1ニューラルネットワークを用いて、各エリアの皺特徴量を生成する

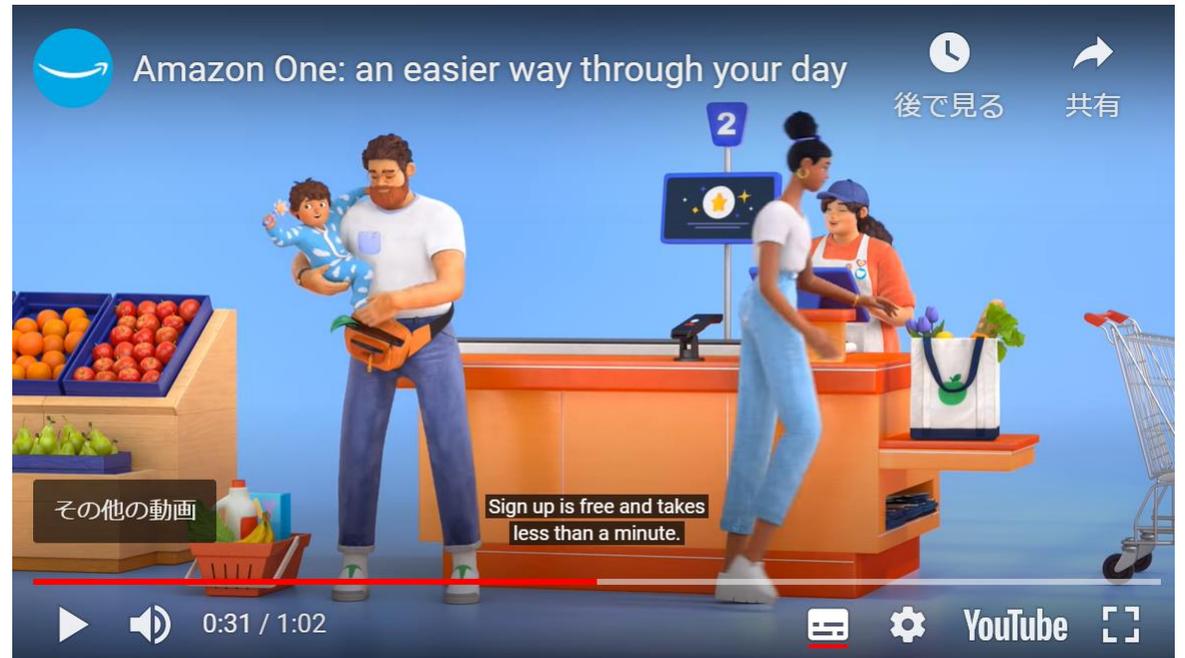
第2反射光についてもエリアごとに第2ニューラルネットワークを用いて各エリアの血管特徴量を生成する

各エリアの皺特徴量と、血管特徴量とを第3ニューラルネットワークに入力して、当該ユーザのサインを特定する

この手の平に関するサインと、DBに記憶されたサイン群とを比較することにより本人認証を行う。

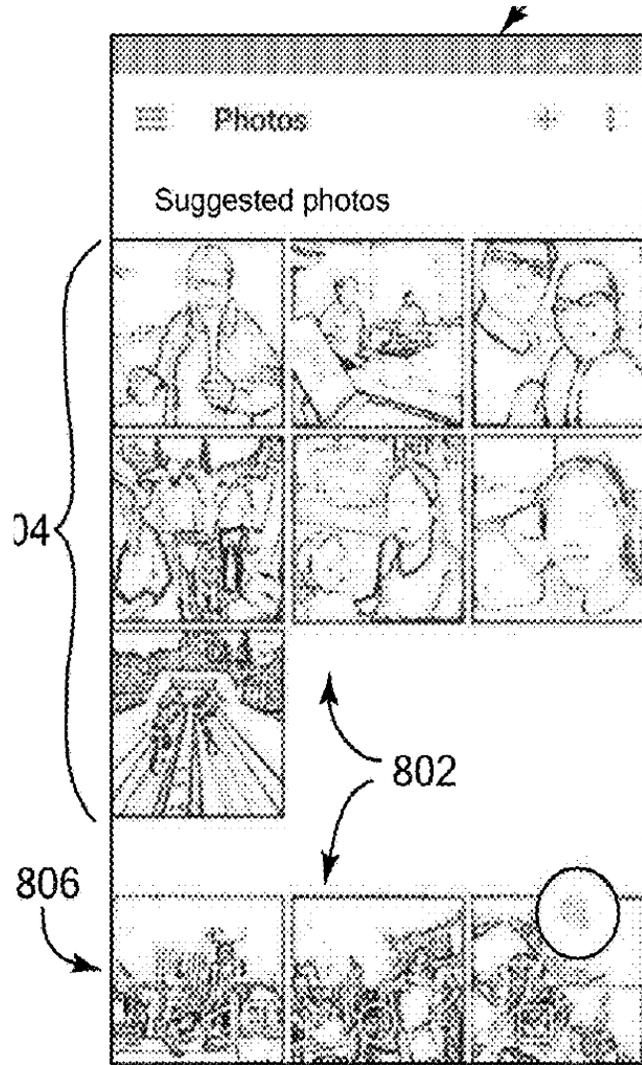
## Amazon特許 Amazon One

Amazonが、非接触手のひら認証システム「Amazon One」を提供開始。  
主にレジなしショップに設置  
サードパーティへの販売も行う予定  
登録は無料で、電話番号、クレジットカード、手の平だけが必要で数分で登録完了



IT Media News HPより2020年12月13日  
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2009/30/news065.html>

## Google特許 写真シェアリングの効率化



特許権者 Google

出願日 2016年9月27日

登録日 2019年11月12日

登録番号 US10476827

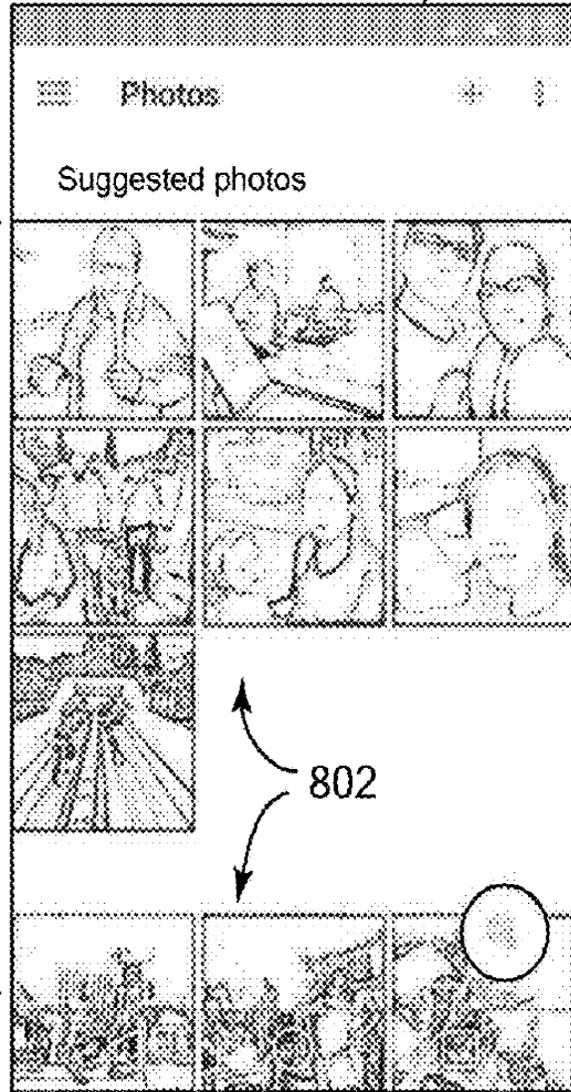
通信ネットワークを介した画像と画像アルバムの共有

写真をシェアすることが一般的になってきている

写真の枚数も多くなり、シェアする対象も増加傾向にある

膨大な写真をより効率よく整理し、適切に選択された友人に写真をシェアするアイデア

## Google特許 写真シェアリングの効率化



シェアする写真の候補が自動で選択され表示される

シェアリングスコアが算出される

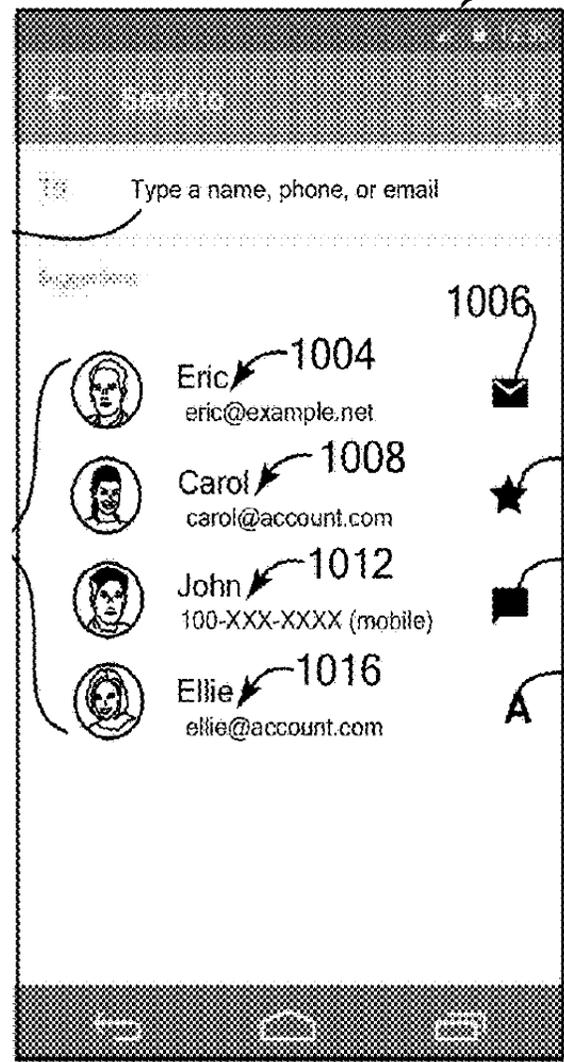
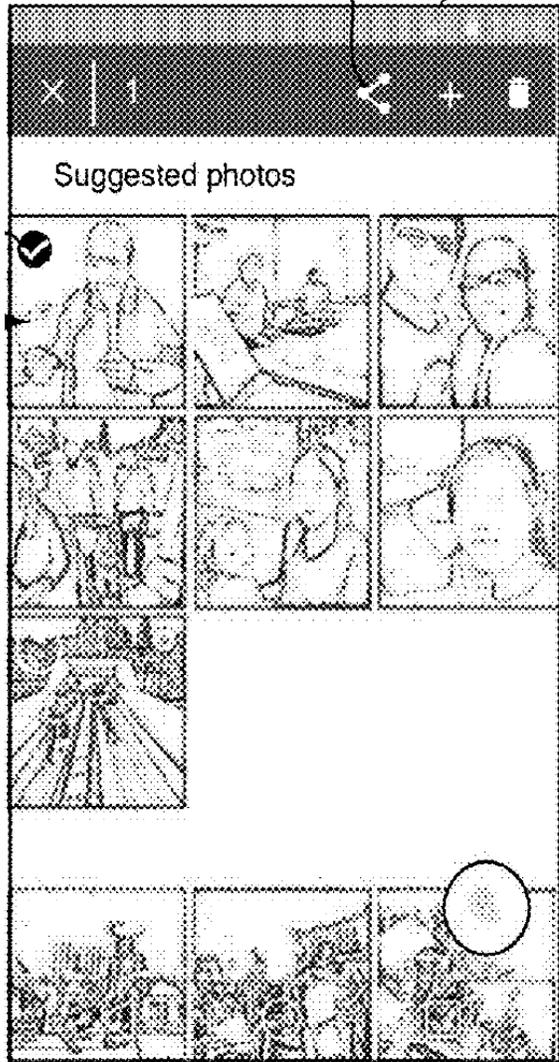
シェアに適している写真はスコアが高くなる

AIでソーシャルイベントを判断・・・スコアがUPする

図の例では公園でのバーベキュー中の写真が選択される。

下側には1週間前、1か月前の関連する写真が提案される。

## Google特許 写真シェアリングの効率化



シェアする写真を選択する

シェアボタンをタップすると、シェアすべきユーザが提案される。

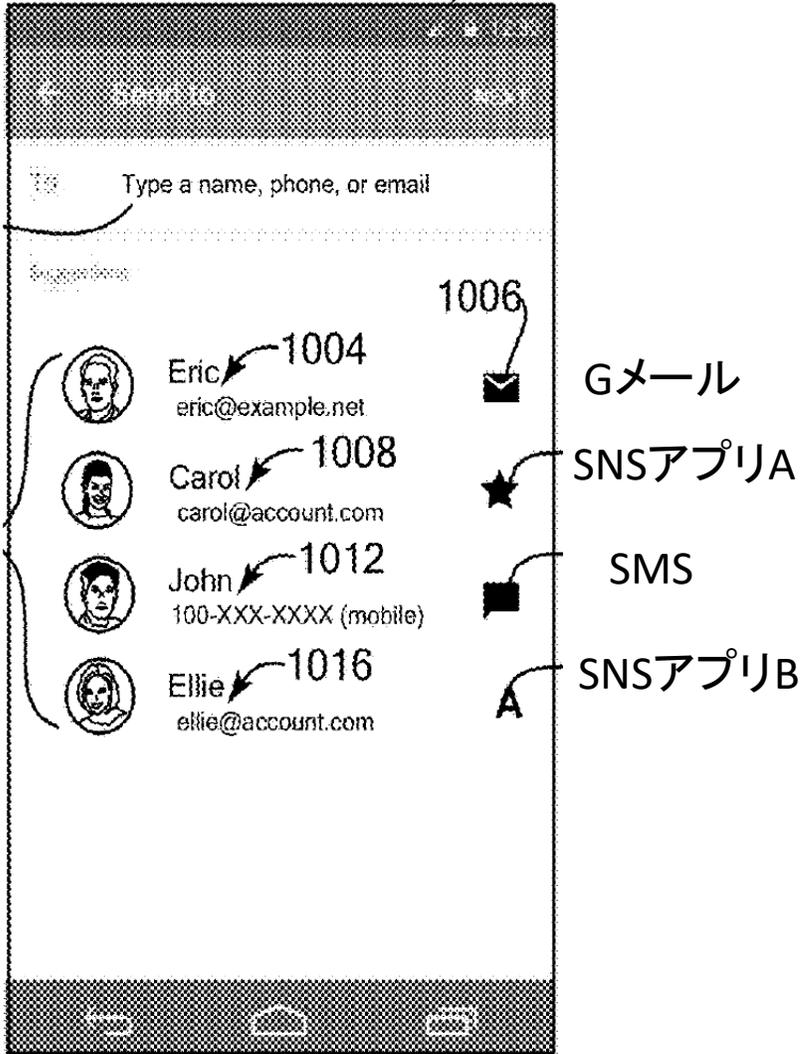
通信履歴からユーザを提案(最近シェアしたユーザ)

同様の写真を過去にシェアしたユーザを提案

その場で写ったユーザを提案

# Google特許 写真シェアリングの効率化

## 異なるアプリ、通信形態でもシェアできる機能

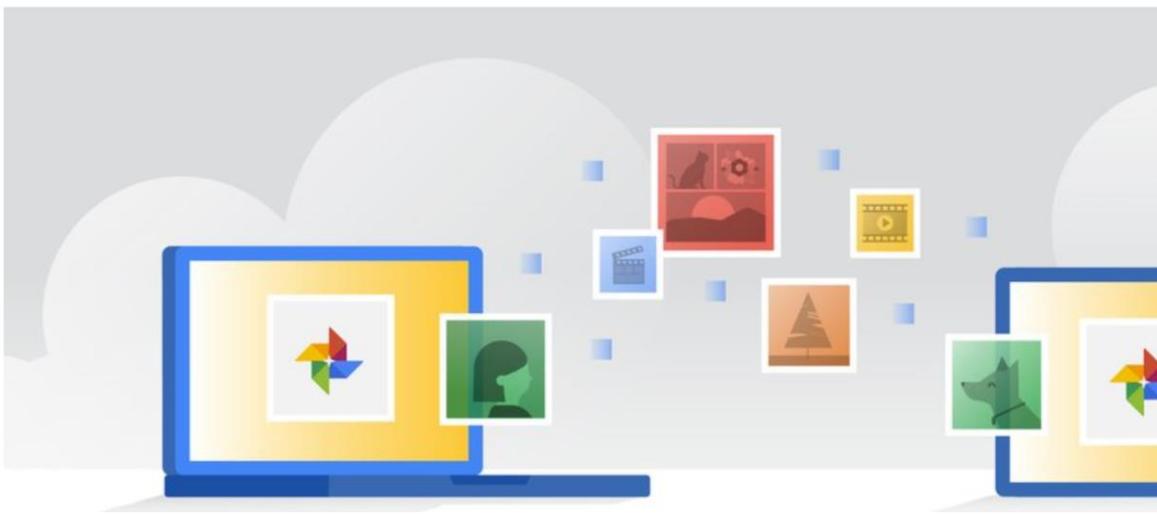


シェアしたユーザの閲覧状況が表示

メッセージ、評価が表示

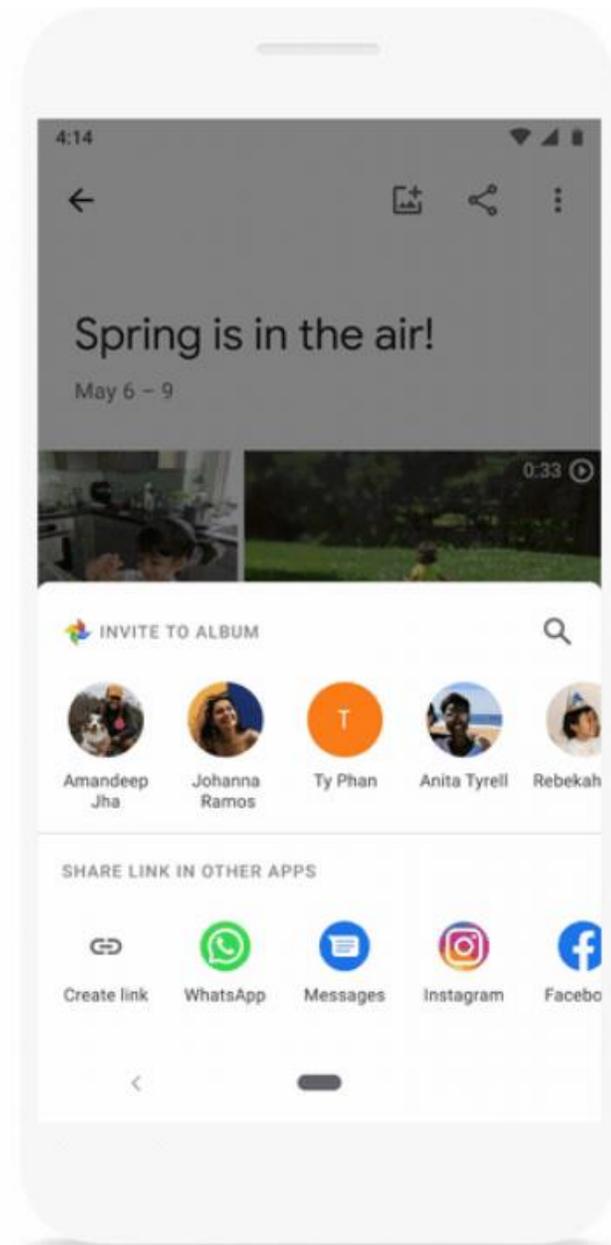
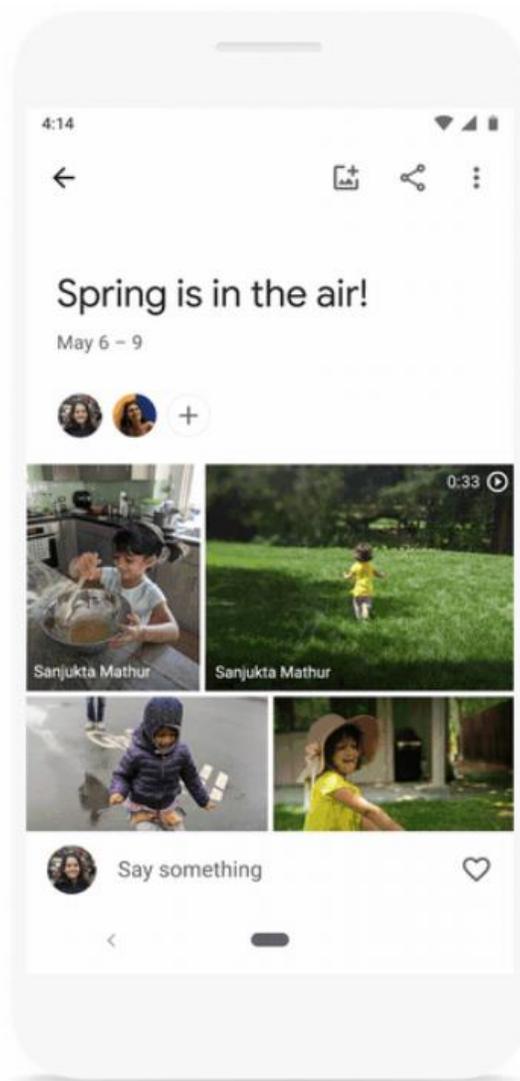
Google特許 写真シェアリングの効率化

# New controls for how you share albums in Google Photos



Google Photoに搭載されているシェア機能

GoogleBlogHPより2020年12月24日  
<https://blog.google/products/photos/new-controls-how-you-share-albums-google-photos/>



# 【車両内のモバイルデバイスの位置特定システム】

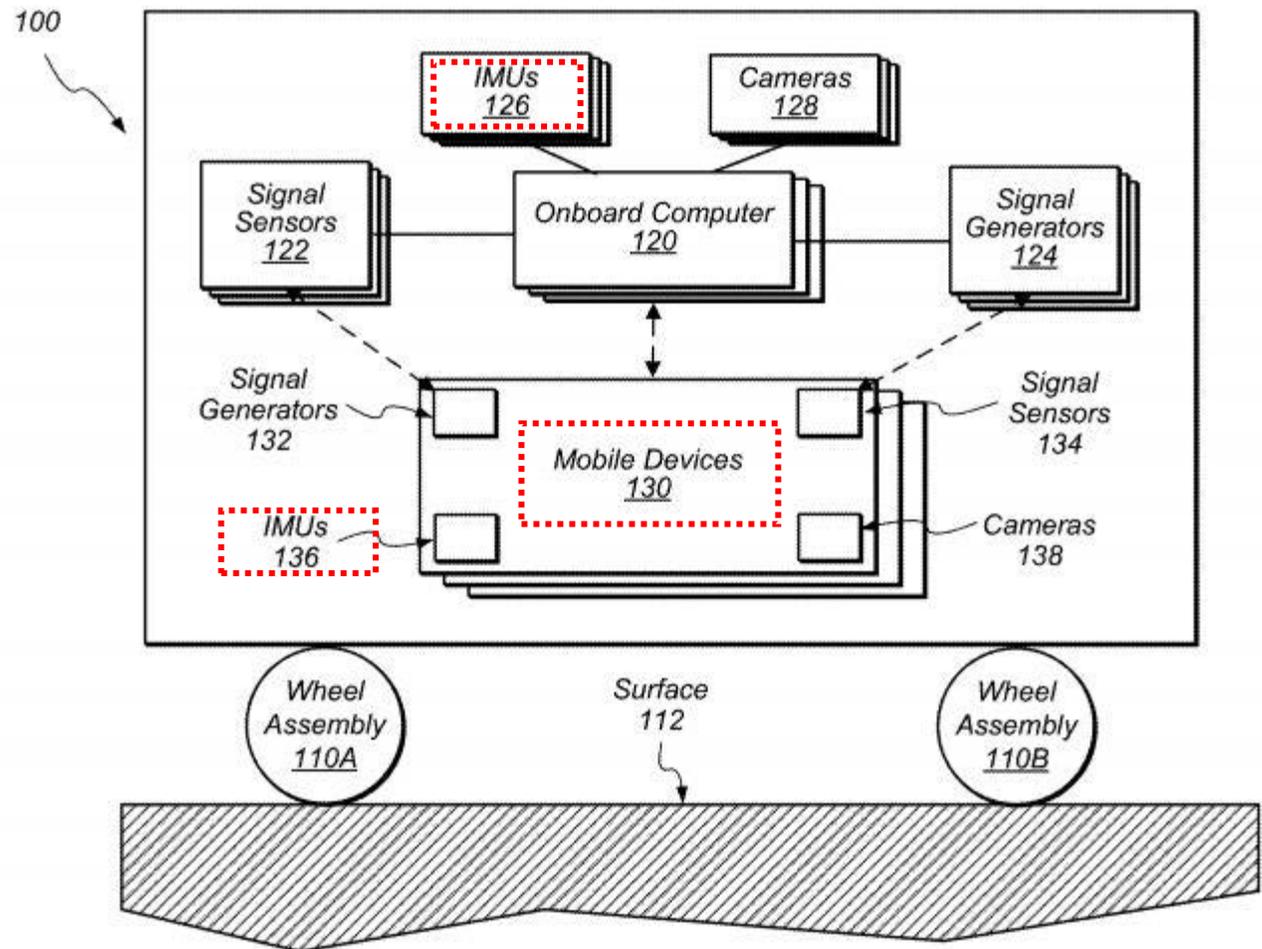
---

Systems and methods for locating mobile devices within a vehicle

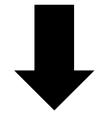
Apple.inc  
US 20200169855  
2020年1月31日出願  
2020年5月28日公開

# 車両内のモバイルデバイスの位置を特定するシステム。

車両100:  
自動車、トラック、バス、飛行機等



車両内でモバイルデバイスを紛失！  
(モバイルデバイス：スマホ、タブレット、PC等)



車両内に固定された慣性計測ユニット (IMUs 126) と、モバイルデバイス130に備わる慣性計測ユニット (IMUs 136) とがそれぞれ計測する“振動データ”に基づいて、モバイルデバイス130 の位置を特定する

IMUs = 加速度センサ、ジャイロセンサ等

FIG. 1

# 車両内のモバイルデバイスの位置を特定する方法。

1300

Measure input vibration data using vehicle IMUs fixed to an enclosure of a vehicle, the input vibration data indicative of input vibrations that are exerted the enclosure of the vehicle  
1302

Apply transfer functions to the input vibration data to determine one or more expected output vibration associated with one or more respective parts of the enclosure  
1304

Receive device vibration data from a mobile device located in the enclosure and in contact with the enclosure  
1306

Match the device vibration data with an expected output vibration of the one or more expected output vibrations  
1308

Determination, based at least in part on the matching, that the device is located in or on a part of the enclosure associated with the expected output vibration  
1310

・車両のエンクロージャ（筐体）に固定された一又は複数のIMUs（車両IMU）が車両の振動を計測する。



・計測された一又は複数の振動データに伝達関数を適用して、車両筐体における各計測位置に関連する場所で実際に出力される振動（予想出力振動）を算出する。



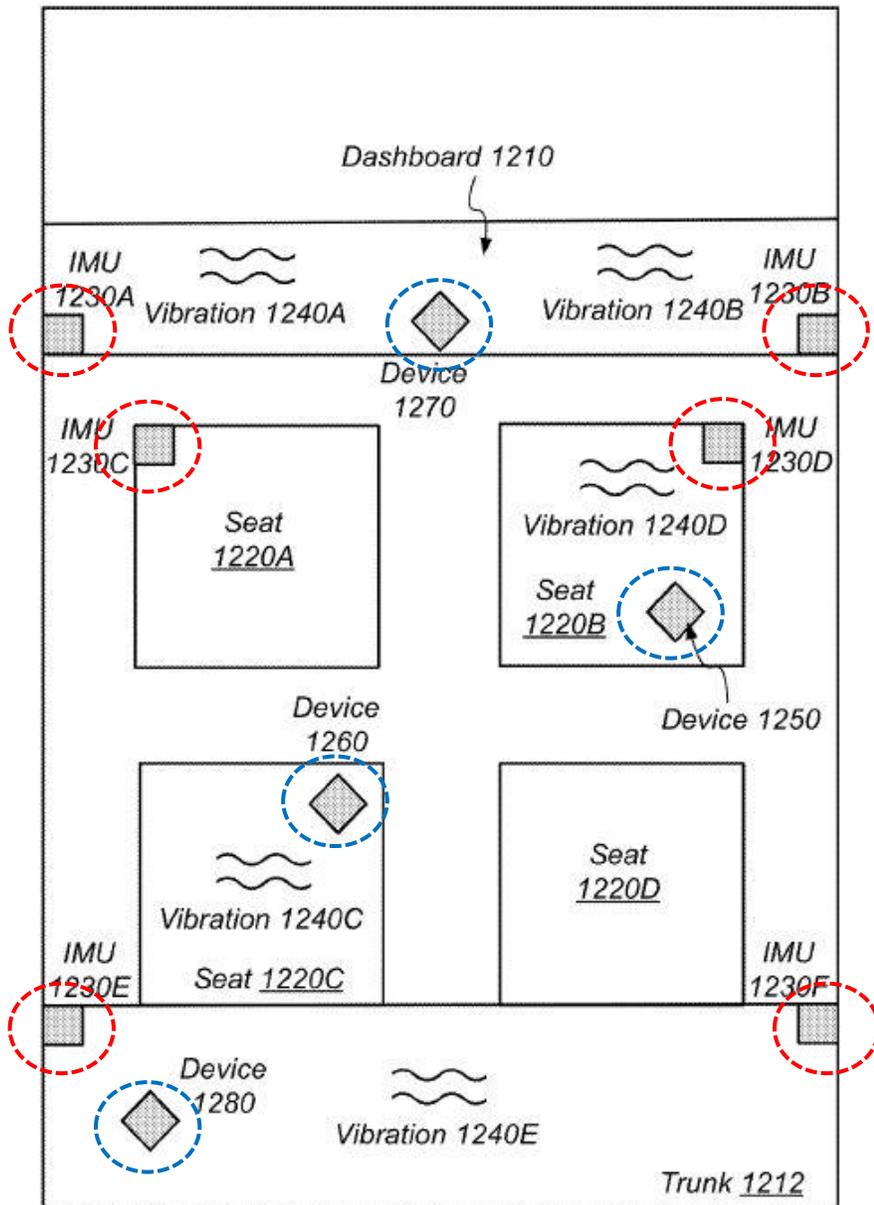
・筐体内にあり、筐体と接触しているスマホに備わるIMUs（デバイスIMU）が計測した振動データを取得する。



・デバイスが計測した振動データと、算出した一又は複数の予想出力振動とをマッチングする。→次のスライドを参照



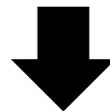
・マッチングした予想出力振動に関連する車両IMUの設置場所から、モバイルデバイスの現在位置を特定する。さらに車載カメラを用いて、モバイルデバイスの位置をより正確に特定してもよい。



○ 車両内に固定された車両IMU

○ 車両内のモバイルデバイス

各モバイルデバイスが計測した振動データと、各車両IMUが計測した振動データに基づく予想出力振動とをマッチングする。



例えば、探したいモバイルデバイスからWIFI経由で取得した振動データがVibration 1240Eと概ね一致する場合には、モバイルデバイスがトランク1212にあることを特定することができる。

なお、単なるマッチングだけでなく、各IMUの計測データに基づいて各IMU間を補完する車両内振動マップを作成し、これに基づいてモバイルデバイスの位置を特定することもできる。

# 【文書作成のためのコンテンツ提案のパーソナライズ】

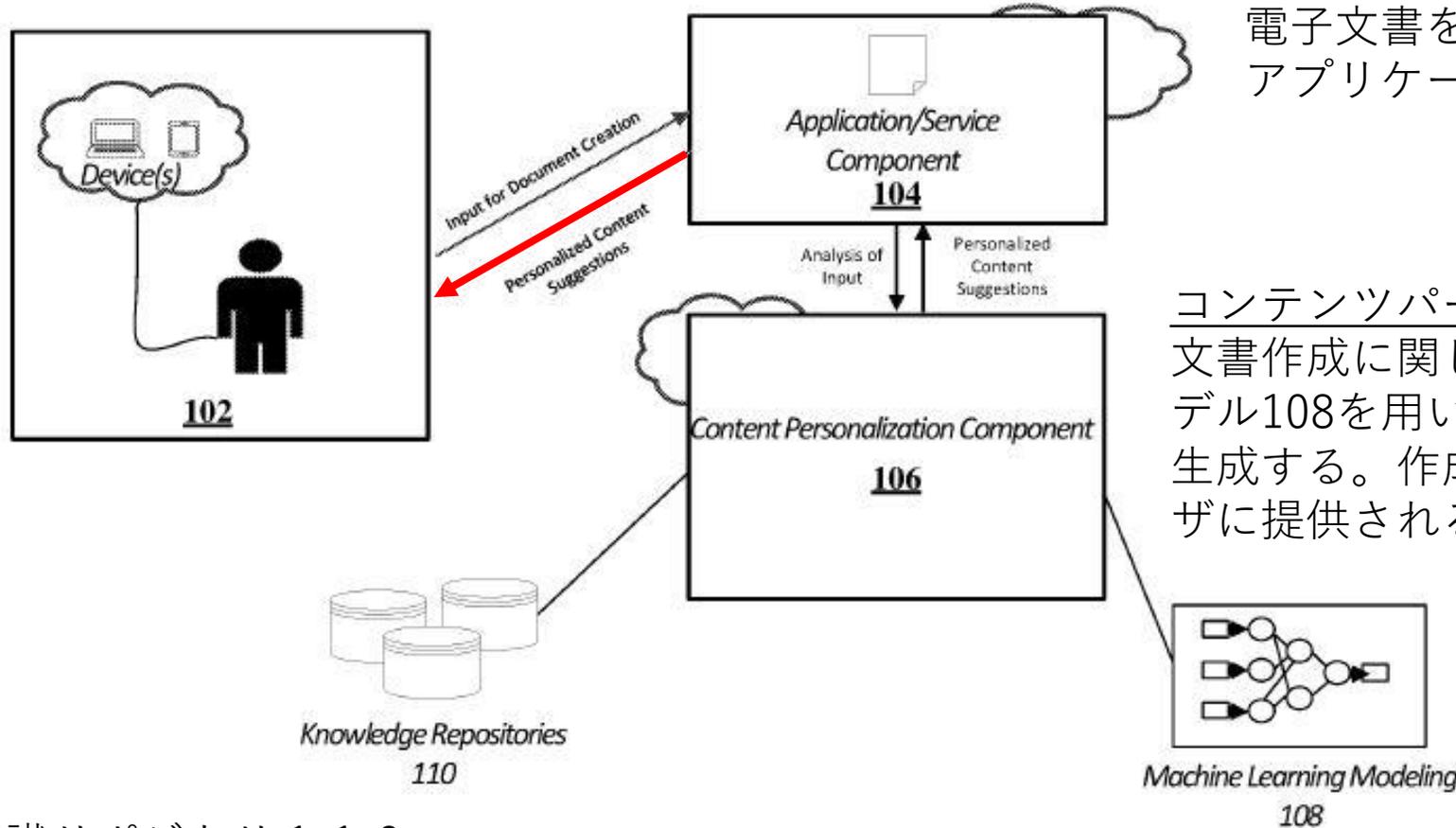
---

Personalization of content suggestions for document creation

Microsoft  
US 2020/0104353  
2018年9月28日出願  
2020年4月2日公開

# 本発明は、文章作成のための高度にパーソナライズされたコンテンツ提案をユーザに提供する

ユーザのデバイス102  
(PC,スマホ等)



アプリケーション/サービスコンポーネント104  
電子文書を作成または修正するために利用される  
アプリケーション/サービス

コンテンツパーソナライゼーションコンポーネント106  
文書作成に関してユーザを支援するために、機械学習モデル108を用いてパーソナライズされたコンテンツ提案を生成する。作成されたコンテンツ提案は104を介してユーザに提供される（赤矢印）

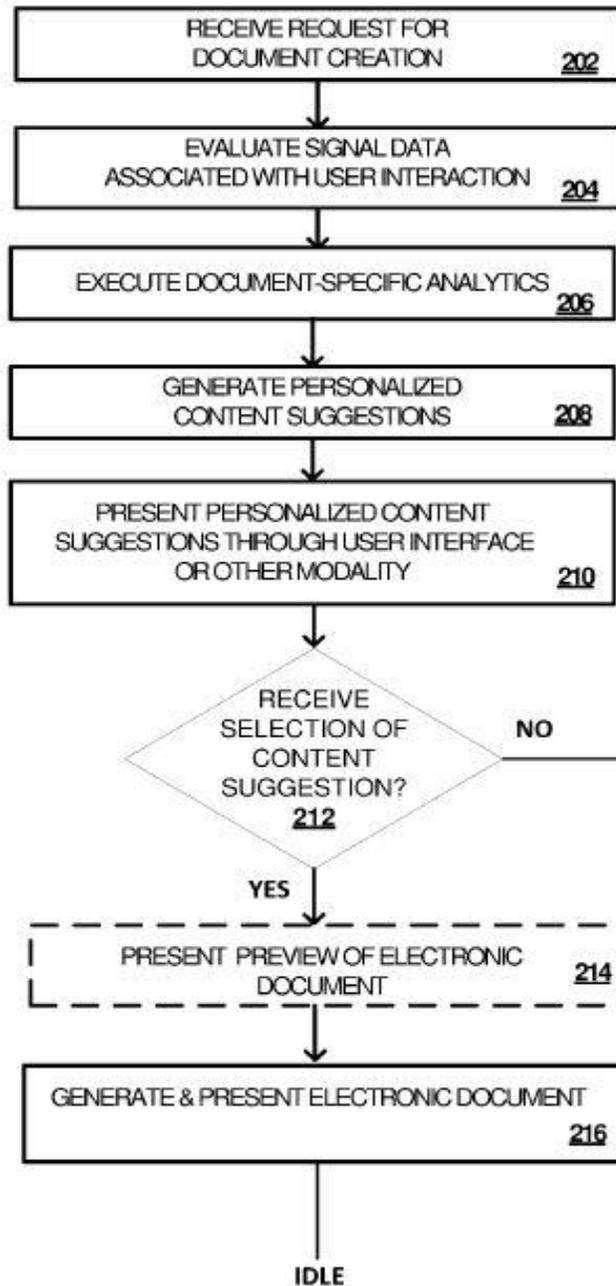
機械学習モデル108

ユーザの入力に基づいて、以前に作成された電子文書群から、ユーザの望む文章作成に最も関連している可能性があるコンテンツを特定するように訓練されている。

知識リポジトリ110

以前に作成された電子文書、および/または以前に作成された電子文書に含まれる特定のコンテンツを識別するために利用できるログデータを記憶する。

# パーソナライズされたコンテンツ提案を提供する方法のフロー例



ユーザインタフェース（UI）を介してユーザから文書作成要求を受信する。UIは、ユーザが望む文書タイプ（例えば所定の文書作成のためのテンプレート）を選択するものであってよい（ステップ202）。



受信された文書作成要求を評価する（ステップ204）。これにより、例えば、ユーザアカウントによって以前に作成された電子文書からユーザが望む文書タイプに一致する文書を識別したり、当該文書に関連付けられたデータ（例えば関連するトピック）をさらに識別したりする（ステップ206）。



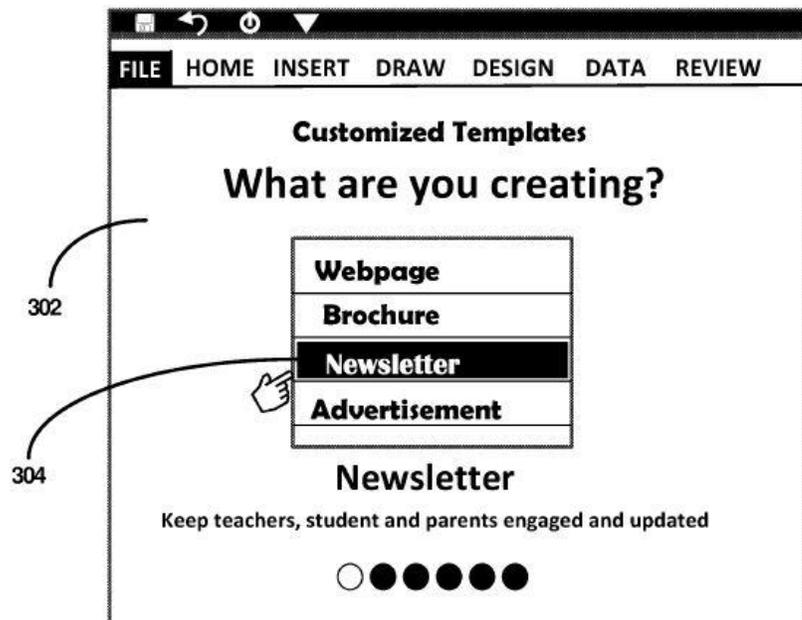
識別された文書を分析して、パーソナライズされたコンテンツ提案を生成し（ステップ208）、UIを介してユーザに提示する（ステップ210）。



そして、提示した少なくとも一つのコンテンツ提案をユーザが選択したか否か確認する（ステップS212）。



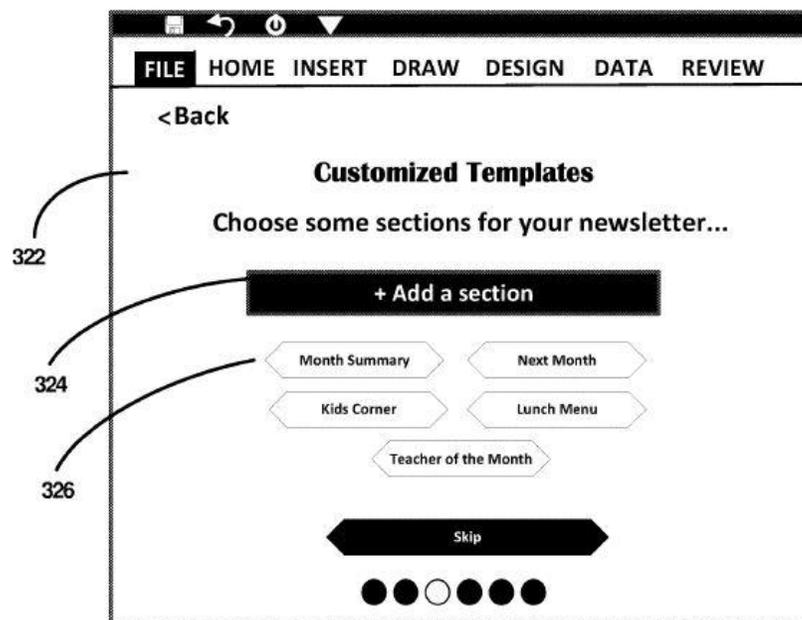
選択されなかった場合（コンテンツ提案が無視された場合）は、次の文書作成要求があるまで待機する。少なくとも一つのコンテンツ提案が選択された場合は、選択されたコンテンツ提案を含む電子文書のプレビューを生成し（ステップ214）、ユーザに提供する（ステップ216）。



① ユーザに文書タイプを選択させる（ステップS202）。

→本例ではニュースレターが選択されている。

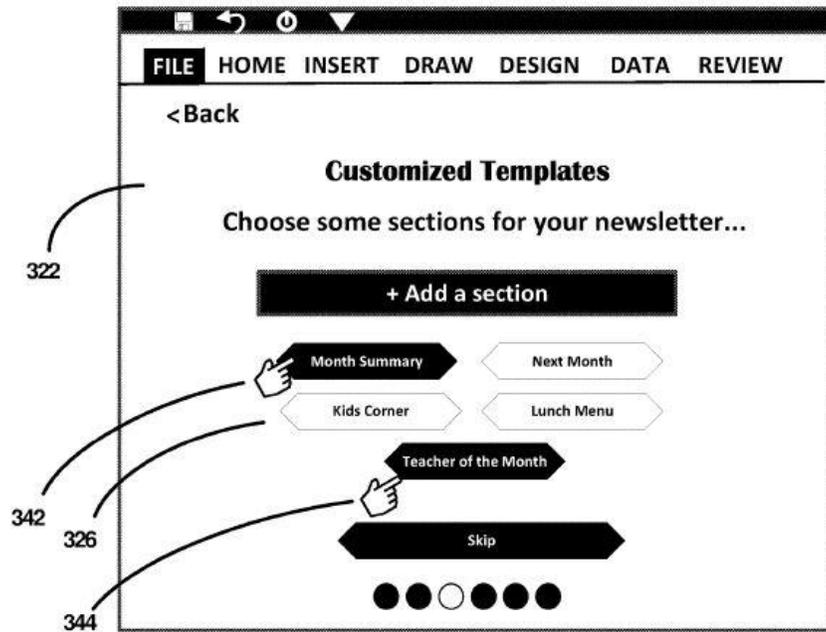
→任意のキーワード（過去に作成した文章のタイトルなど）をさらに入力できるようにしてもよい（例えばschool days等）



② 選択された文書タイプに基づいてコンテンツ提案を生成し、ユーザに提供する。

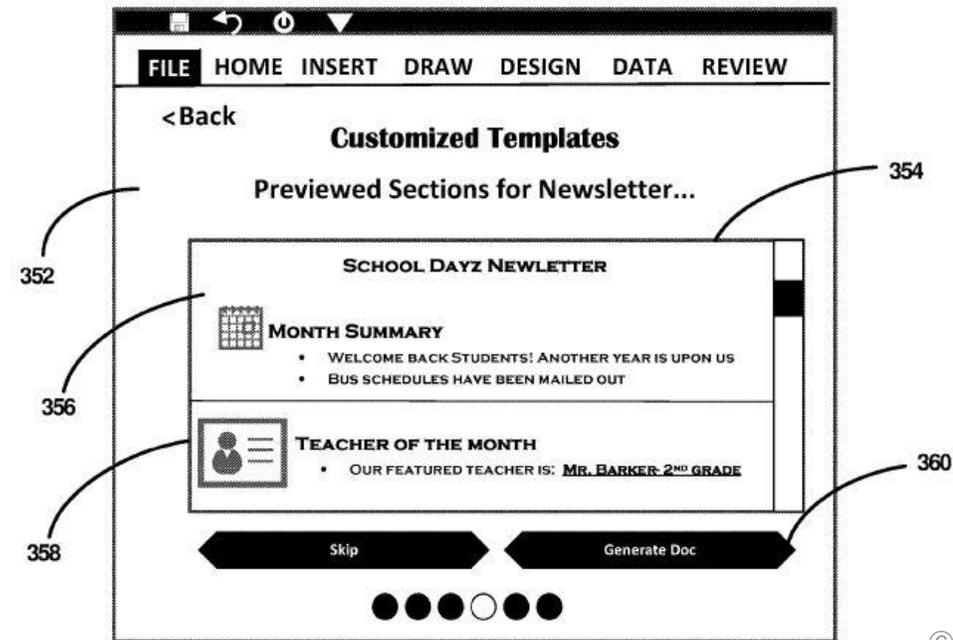
→例えば、選択されたテンプレート（ニュースレター）と入力されたキーワード（school days）とに基づいて、〈month summary〉や〈Kids corner〉などのコンテンツ案が生成され、提供される。

## 本発明のUI例（続き）



③ ユーザにコンテンツを選択させる。

→本例では〈month summary〉と〈teacher of the month〉とが選択されている。



④ 選択されたコンテンツに基づいて生成した電子文書のプレビューをユーザに提供する。

→本例では、ユーザが選択したコンテンツである〈month summary〉や〈teacher of the month〉を含むプレビューが提供される。



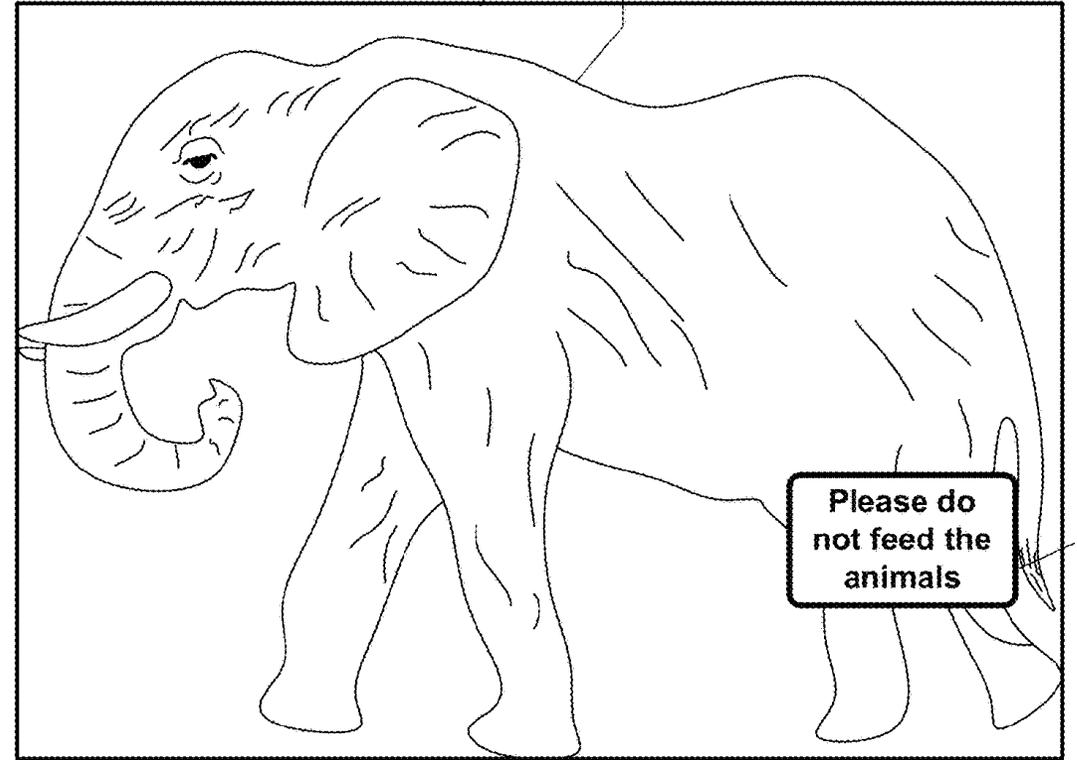
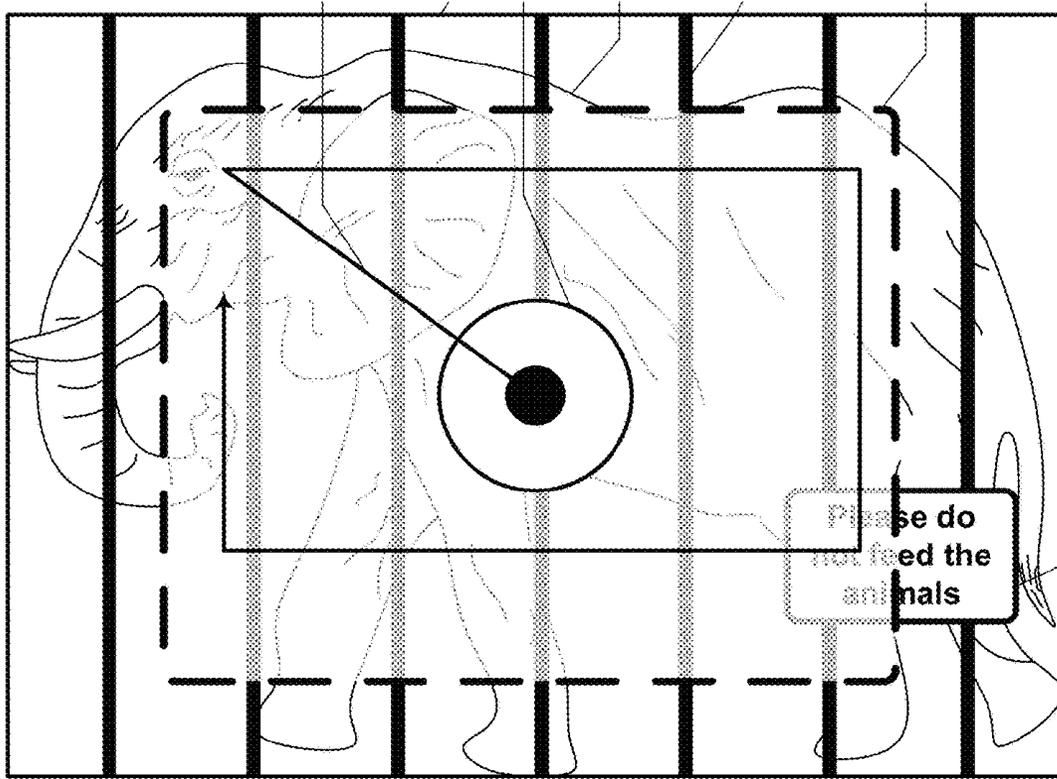
### 視覚障害物を通して写真を撮る

従来の画像キャプチャ技法は、カメラの視野(Field of View)が反射または邪魔する要素を含むとき、望ましくない結果をもたらす可能性がある。

たとえば、夜にガラス窓を通して暗いシーンに向けて写真を撮影するとき、明るく照らされた室内の物体からの反射が、背景の暗いシーンの画像をあせさせる、劣化させる場合がある。

別の例として、囲いを通して動物園の動物の写真を撮影すると、檻の棒またはフェンスなどの邪魔をする物体に起因して、望ましいとは言えない結果をもたらす可能性がある。

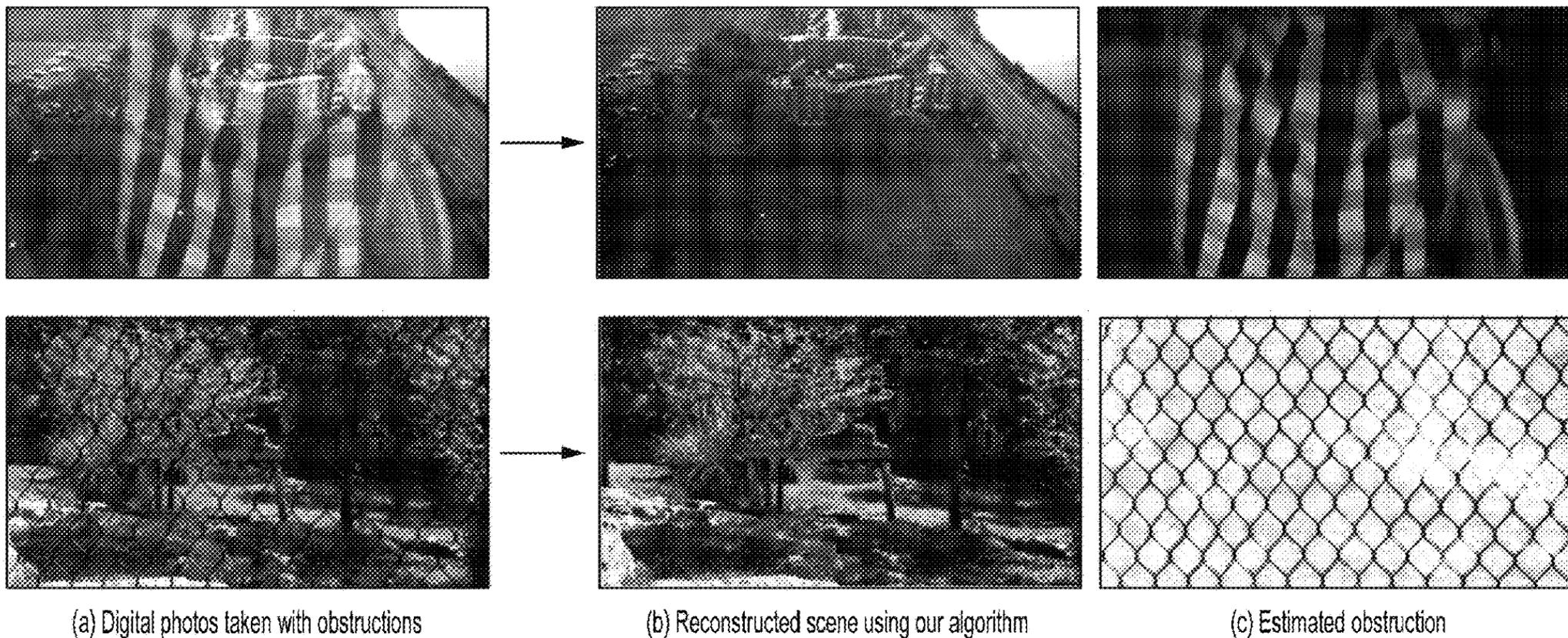
## Google特許 写真上のノイズ除去特許



画像上のノイズを認識する。

ノイズの形態に応じて、カメラの移動方向移動量をファインダーに表示

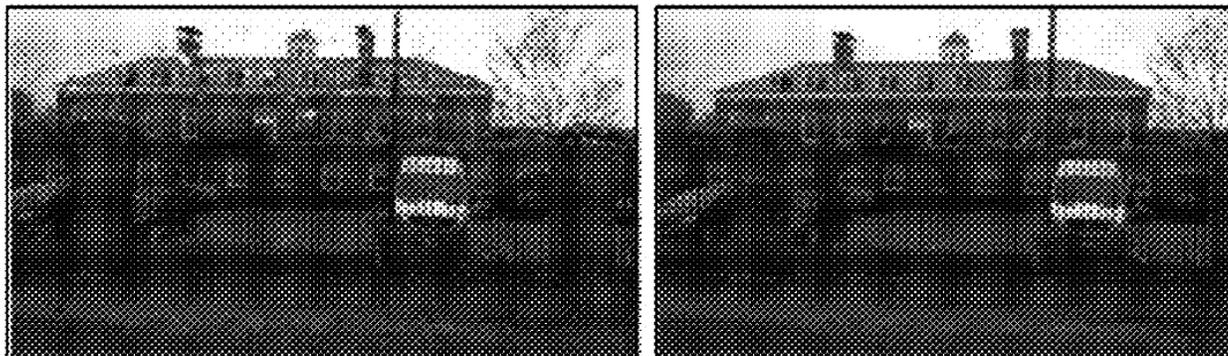
## Google特許 写真上のノイズ除去特許



上側: ガラス窓の反射ノイズが分離除去されている  
下側: フェンスが除去されている

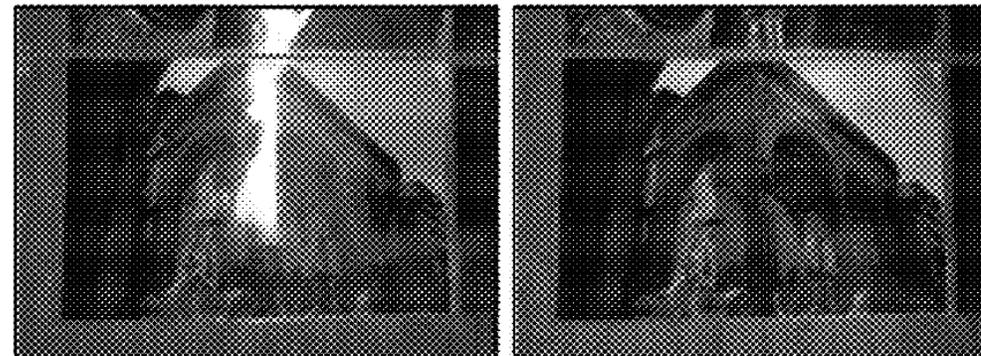
# Google特許 写真上のノイズ除去特許

## 自動車の窓についての雨滴除去

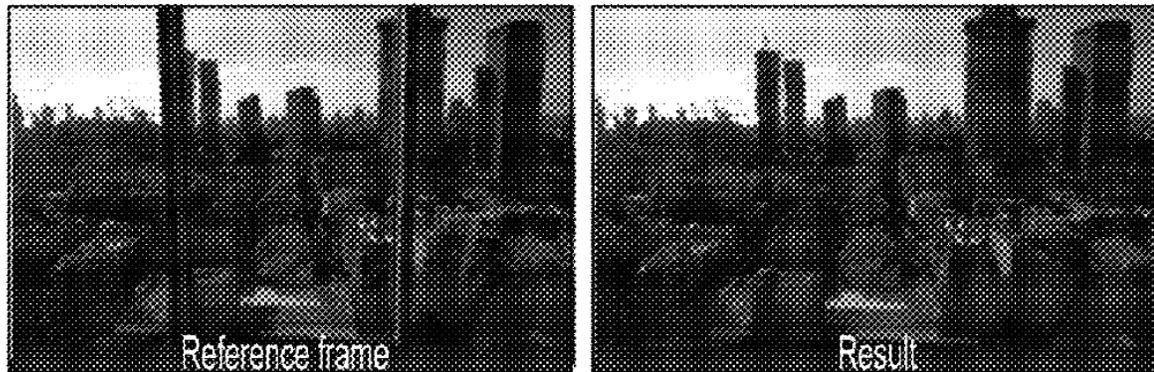


(a) Rain drops on car windows

## 太陽光のグレア除去

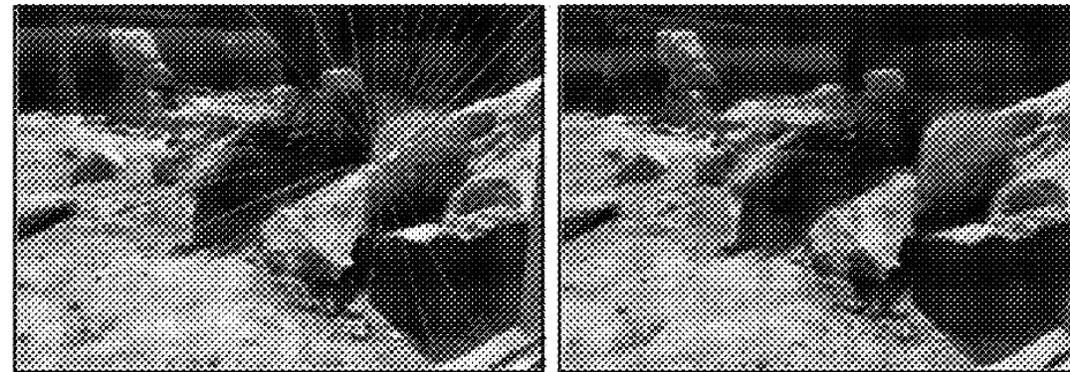


(b) Glare while taking photo albums with indoor lights



(c) Window frames

## 窓のフレーム除去



(d) Glass cracks

## ガラスの割れ除去

# Google特許 写真上のノイズ除去特許

DP ReviewHPより2020年12月26日

<https://www.dpreview.com/articles/1112226582/google-and-mit-team-up-on-clever-method-to-remove-reflections-and-obstructions-from-photos>

Android Authority HPより2

<https://www.androidauthority.com/google-makes-easier-remove-obstructions-photos-773044/>



Regular photo



Obstruction-free photo

# 【スマートフォンベースのジェスチャー検出レーダシステム】

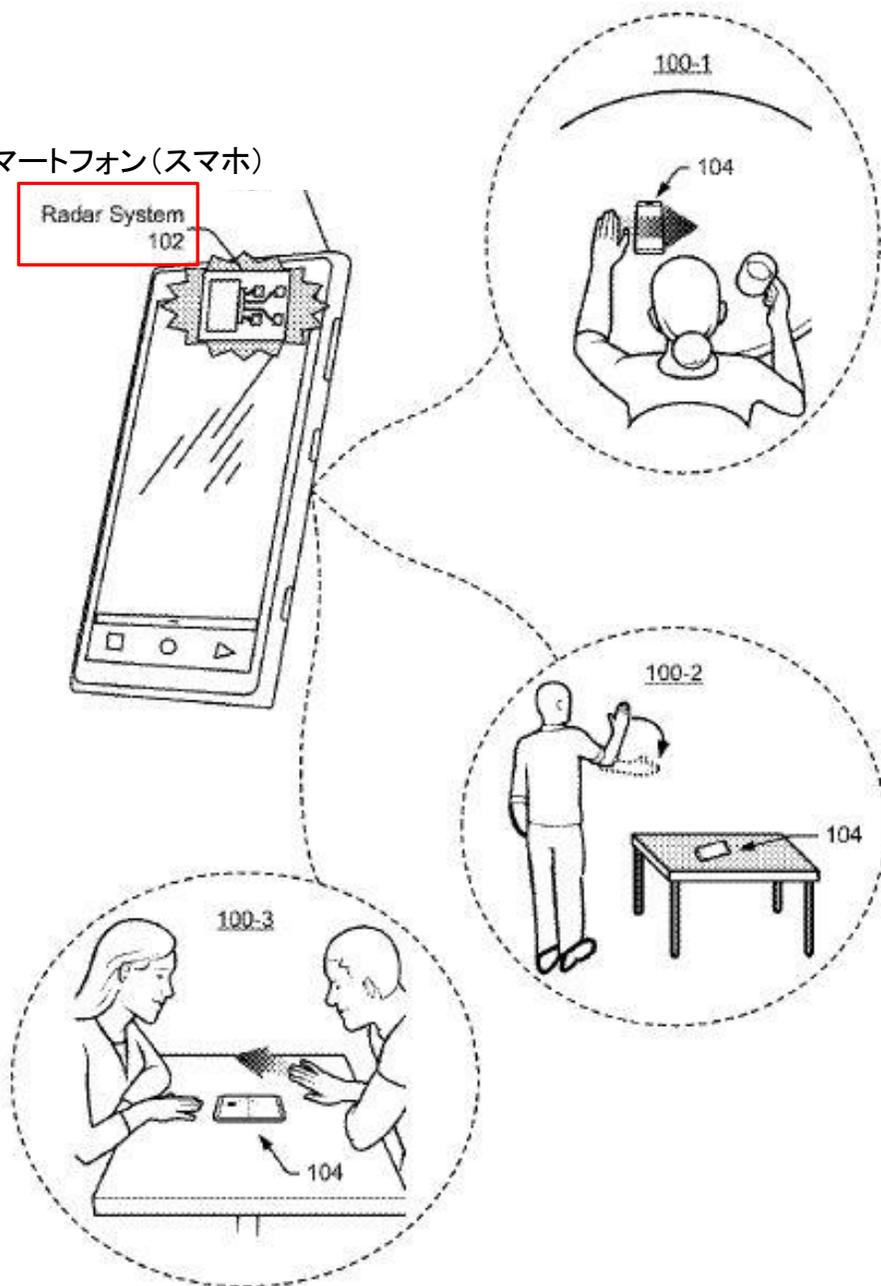
---

Smartphone-based radar system detecting user gestures using coherent multi-look radar processing

Google LLC,  
US 2020/0057504  
2018年8月20日出願  
2020年2月20日公開

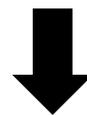
スマートフォン(スマホ)

Radar System  
102

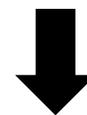


スマホに備わるレーダシステム102は、少なくとも二つの受信アンテナを含むアンテナアレイ。

ジェスチャーを行うターゲットから反射されるレーダ信号を受信し、これを解析することによりジェスチャーを検出する。

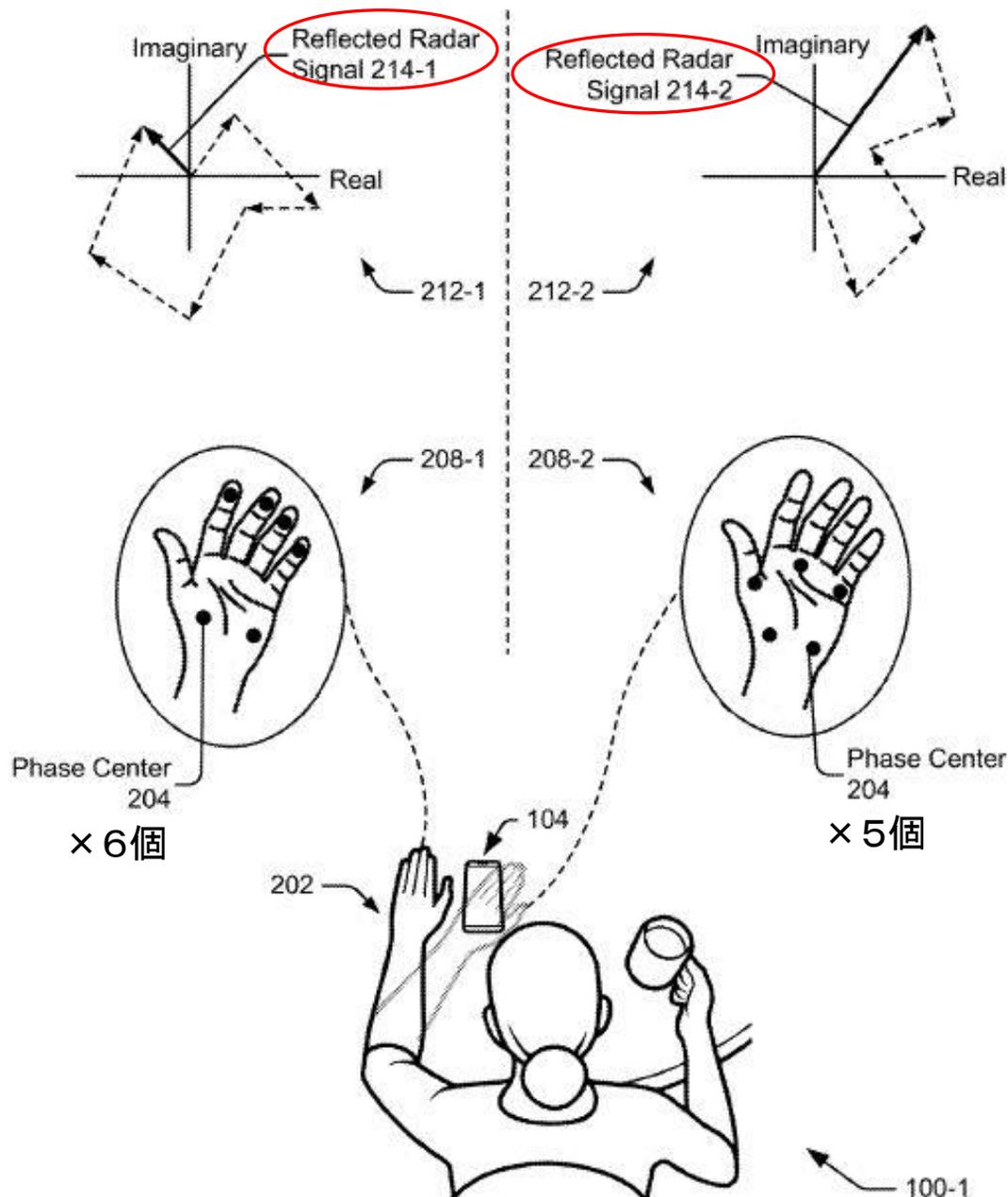


ところで、一部のレーダー処理技術では、ハードウェアのサイズやレイアウトの制約によってレーダ信号の帯域幅、送信電力、更新レートなどが制限され、ジェスチャーを識別するための正確な測定値を取得することが難しい場合がある。



本発明では、「**コヒーレントマルチルックレーダ処理**」を実行することにより、多くのハードウェア制約が存在する場合でさえ、ジェスチャーをよりよく認識することができる。結果、小型の電子機器ベース(例えばスマホベース)のレーダシステムによるジェスチャー検出精度を向上させることが可能となる。

# コヒーレントマルチルックレーダ処理について



本システムでは、人体の部分(手、指、顔等)を分散ターゲットとして検出する。分散ターゲットには複数の位相中心(phase center 204)がある(その数と位置は、手の動き等により生じる観測角度の変化に応じて変化し得る)。

各位相中心204は、レーダーシステム102に向かってレーダ信号の一部を反射する。



各位相中心204における反射特性の違いにより、各反射レーダ信号の位相または振幅は相違し得る。各位相中心204とスマホ104との間の相対的な経路も相違する。これらの相違により、位相中心204から反射されたレーダ信号(反射信号)が互いに干渉する。



レーダーシステム102は、これら反射信号の干渉(重ね合わせまたは組み合わせ)に基づいて、振幅および位相を有する反射レーダ信号214-1、214-2を生成する(赤丸で示す214-1、214-2の実線ベクトルを参照)。

# Google特許 レーダシステムを備えるスマートフォン

特許権者 Google

出願日 2018年8月24日

公開日 2020年6月30日

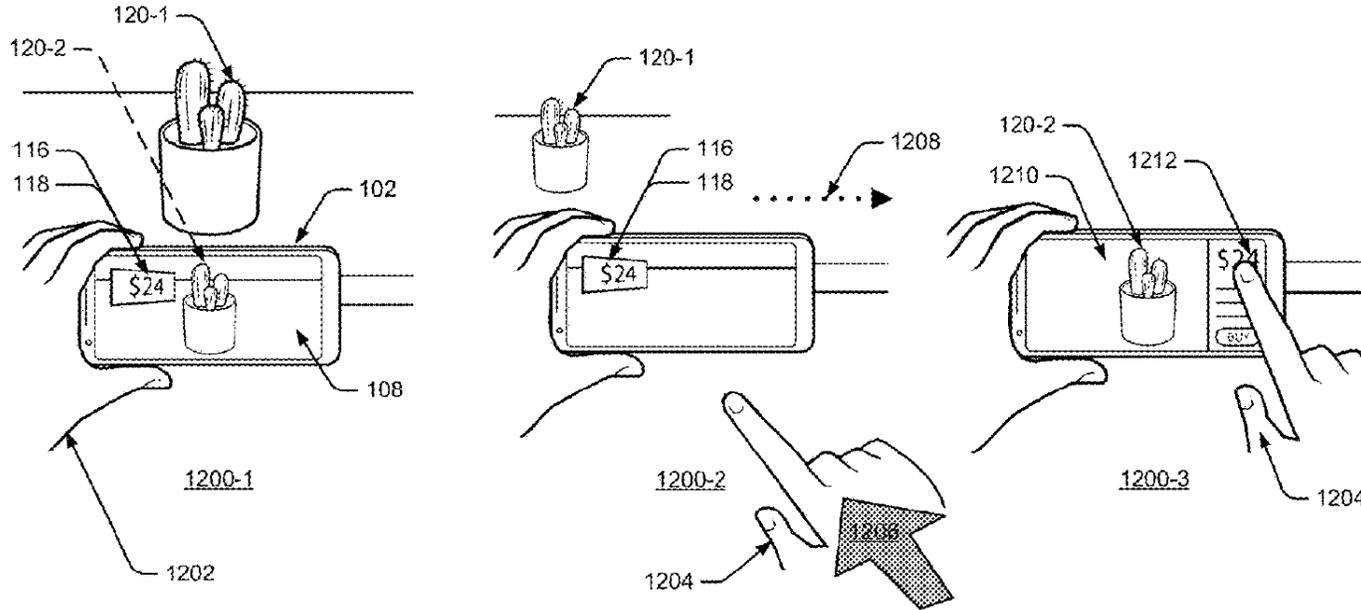
公開番号 US10698603

拡張現実インターフェースで表示されたオブジェクトとのユーザーインタラクションの容易さと正確さを促進するスマートフォンベースのレーダーシステム

スマートフォンにAR表示を行う。

スマートフォン上には、サボテンと、AR画像である値札118が表示される。

ユーザはタッチ操作の他、手を近づけることにより、値札を選択し、商品を購入することができる。



# Google特許 レーダシステムを備えるスマートフォン

レーダーフィールド110に入った手112の反射波を動きを受信アンテナ素子402で検出する。

受信した反射波を機械学習で分析し、手の動きを特定する。

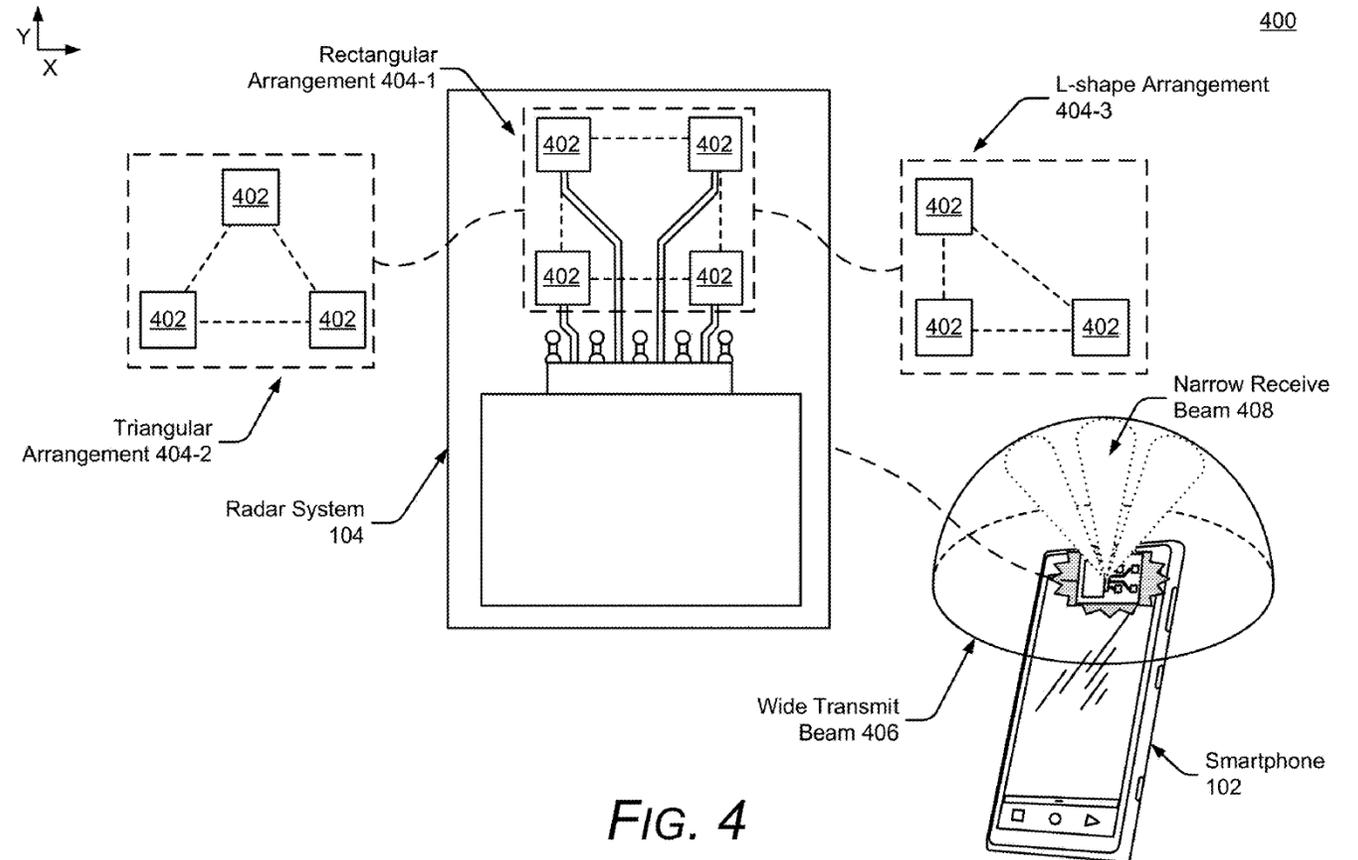
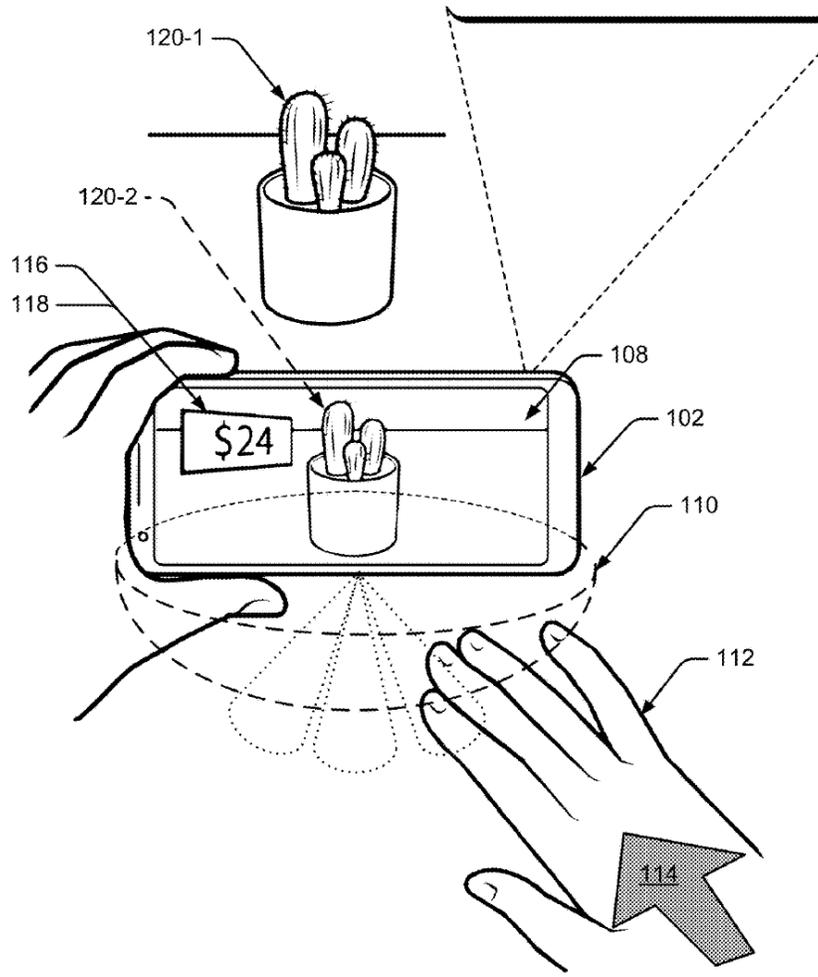
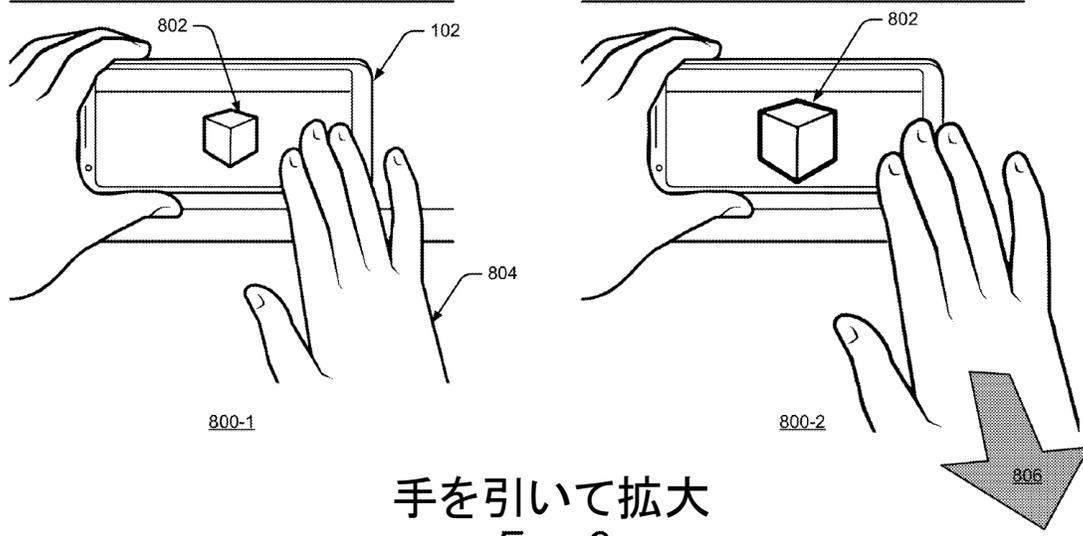
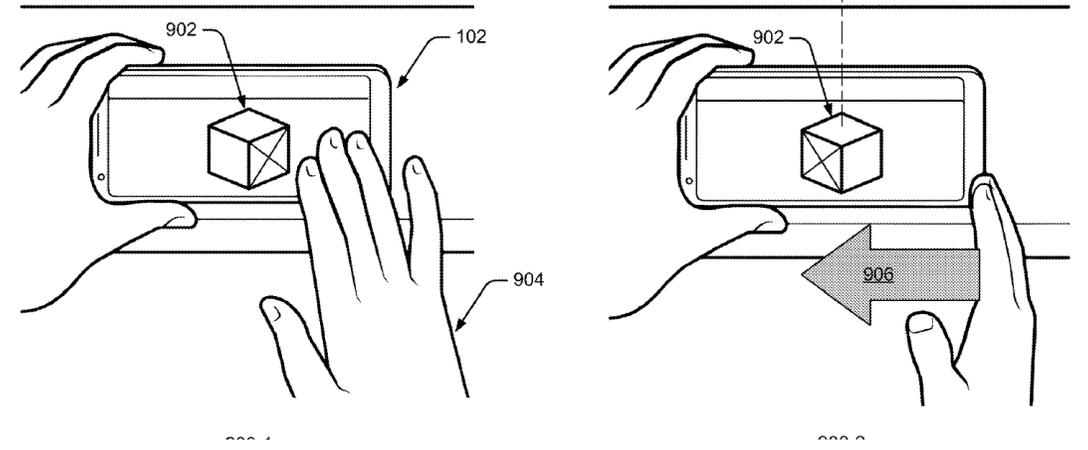


FIG. 4

# Google特許 レーダシステムを備えるスマートフォン

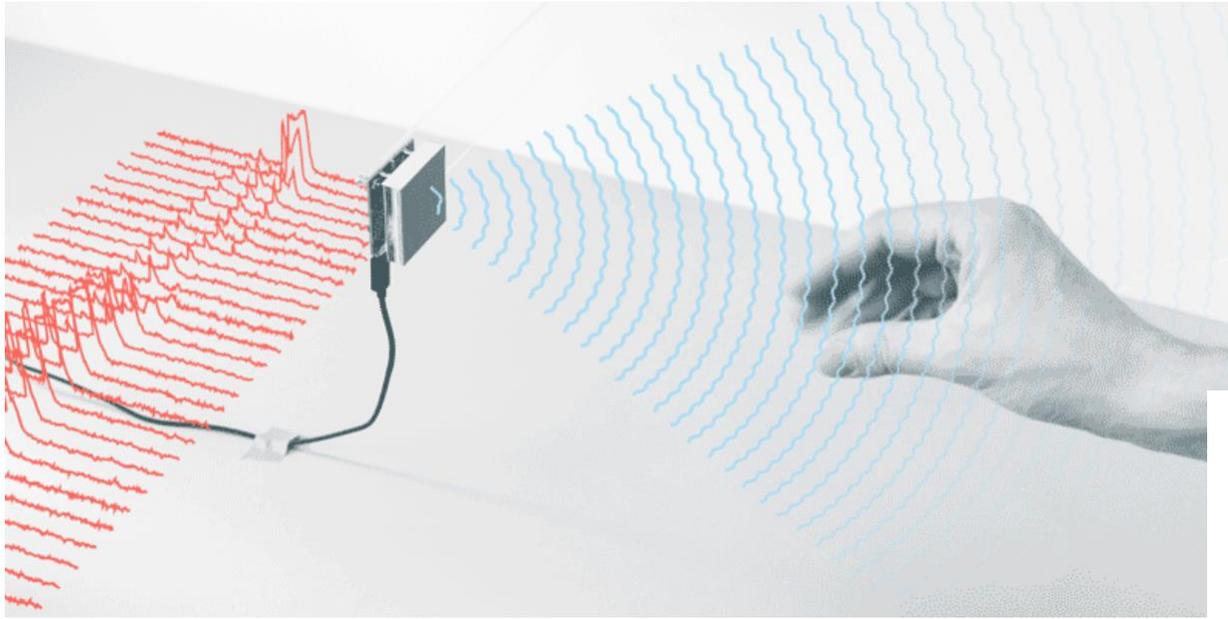


手を引いて拡大  
FIG. 8



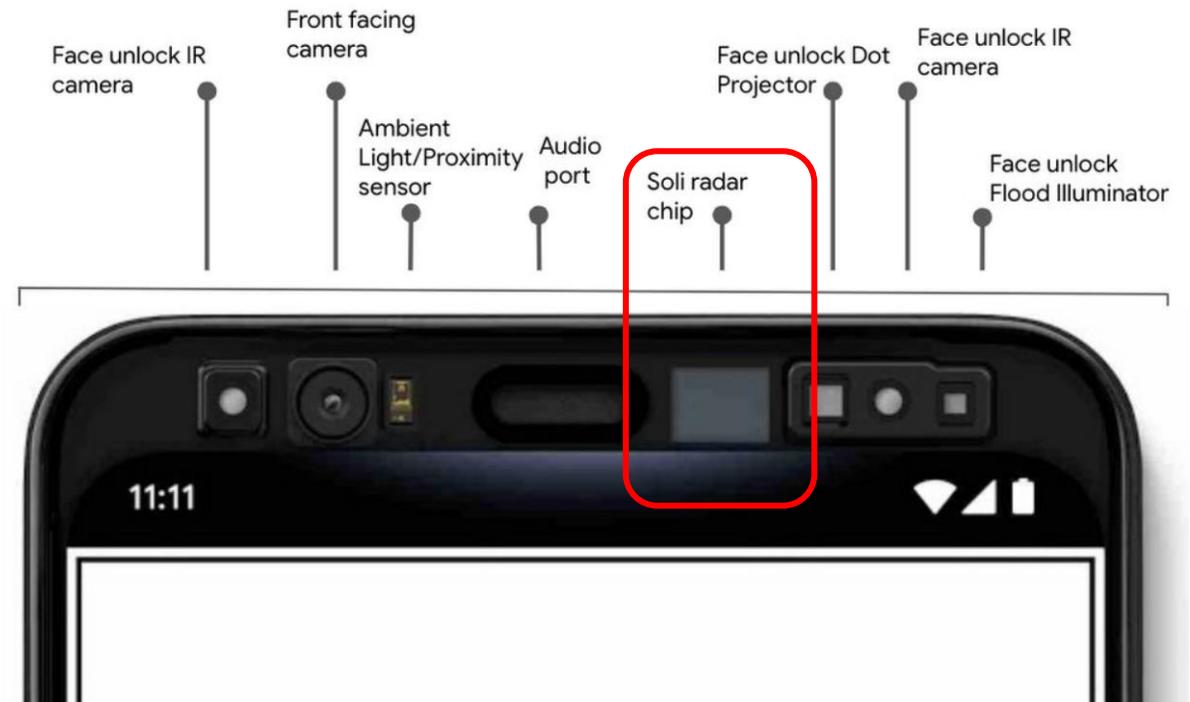
スワイプして回転

## Google特許 レーダシステムを備えるスマートフォン



## GoogleのスマートフォンPixel4にSoli Radar搭載

Soli Radarは60GHz帯の電波を使い、ジェスチャーなどスマホ周囲の動きを認識



EngadgetHPより2020年12月30日  
<https://japanese.engadget.com/jp-2019-07-29-google-pixel-4-soli.html>

# Amazon特許 ノイズキャンセリングドローン

特許権者 Amazon

出願日 2015年9月18日

登録日 2016年9月13日

登録番号 US9442496

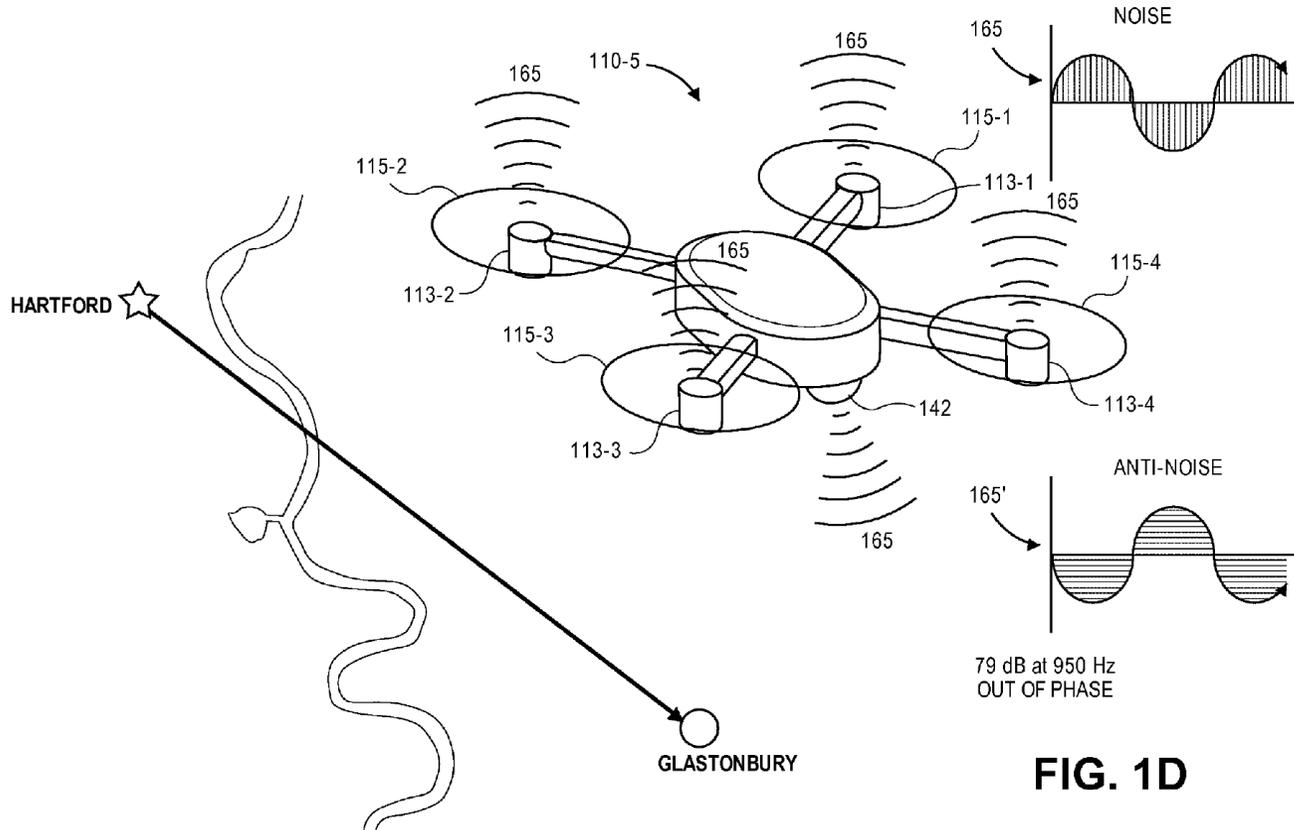


FIG. 1D

## アクティブな空中騒音の軽減

運輸、調査、警備等の各分野でドローンの活用が進んでいる。

一方で、ドローン飛行時の騒音が問題となっている。

## ノイズキャンセリング機能を有するドローン

# Amazon特許 ノイズキャンセリングドローン

各ドローンのデータを取得する

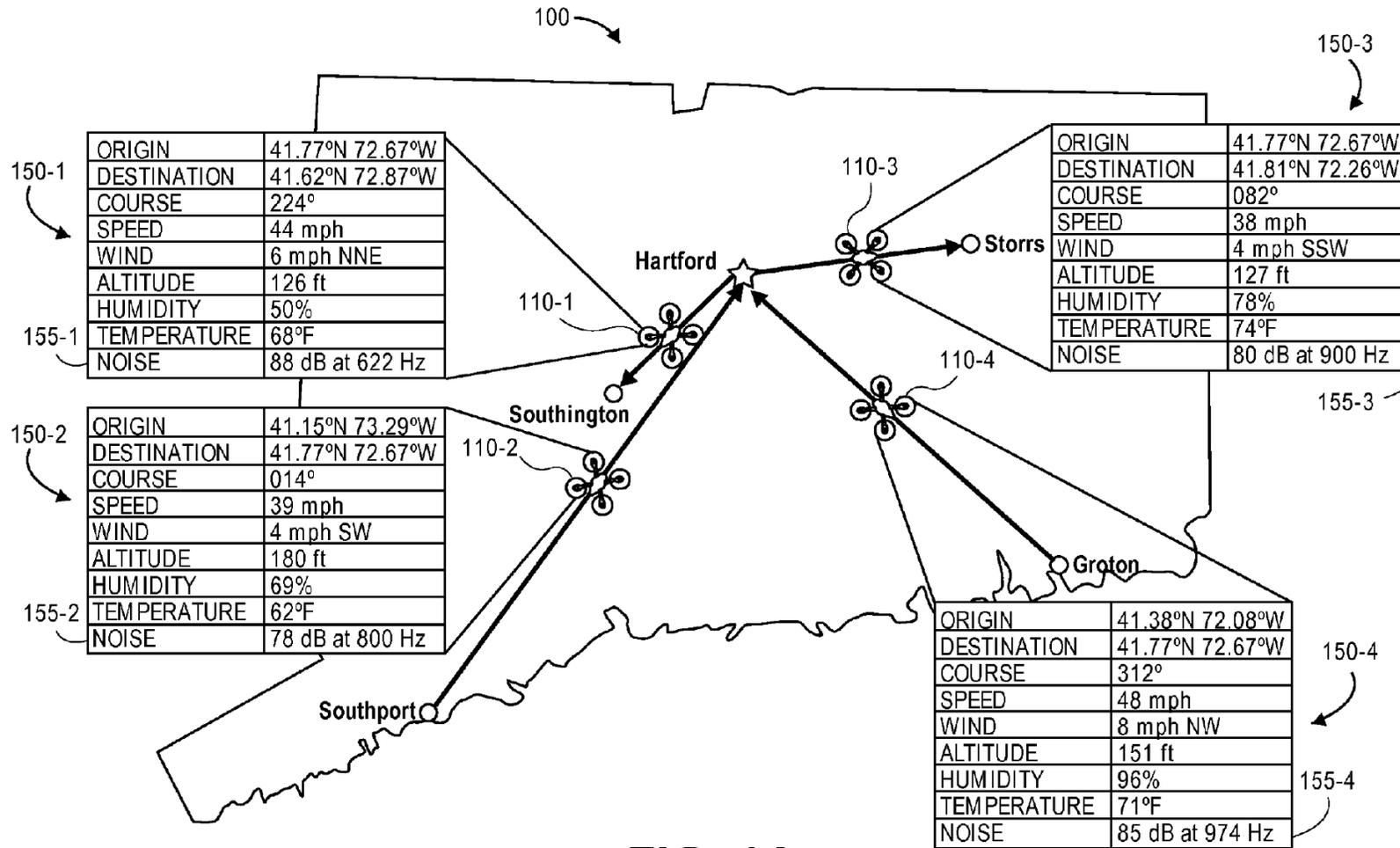


FIG. 1A

## 環境特性

- 風の強さ、風向き
- 気圧
- 湿度
- 気温

## 機体の動作特性

- 対気速度
- 高度
- 針路
- 上昇率
- 降下率
- 旋回率
- 加速度
- モータ、ロータの回転速度

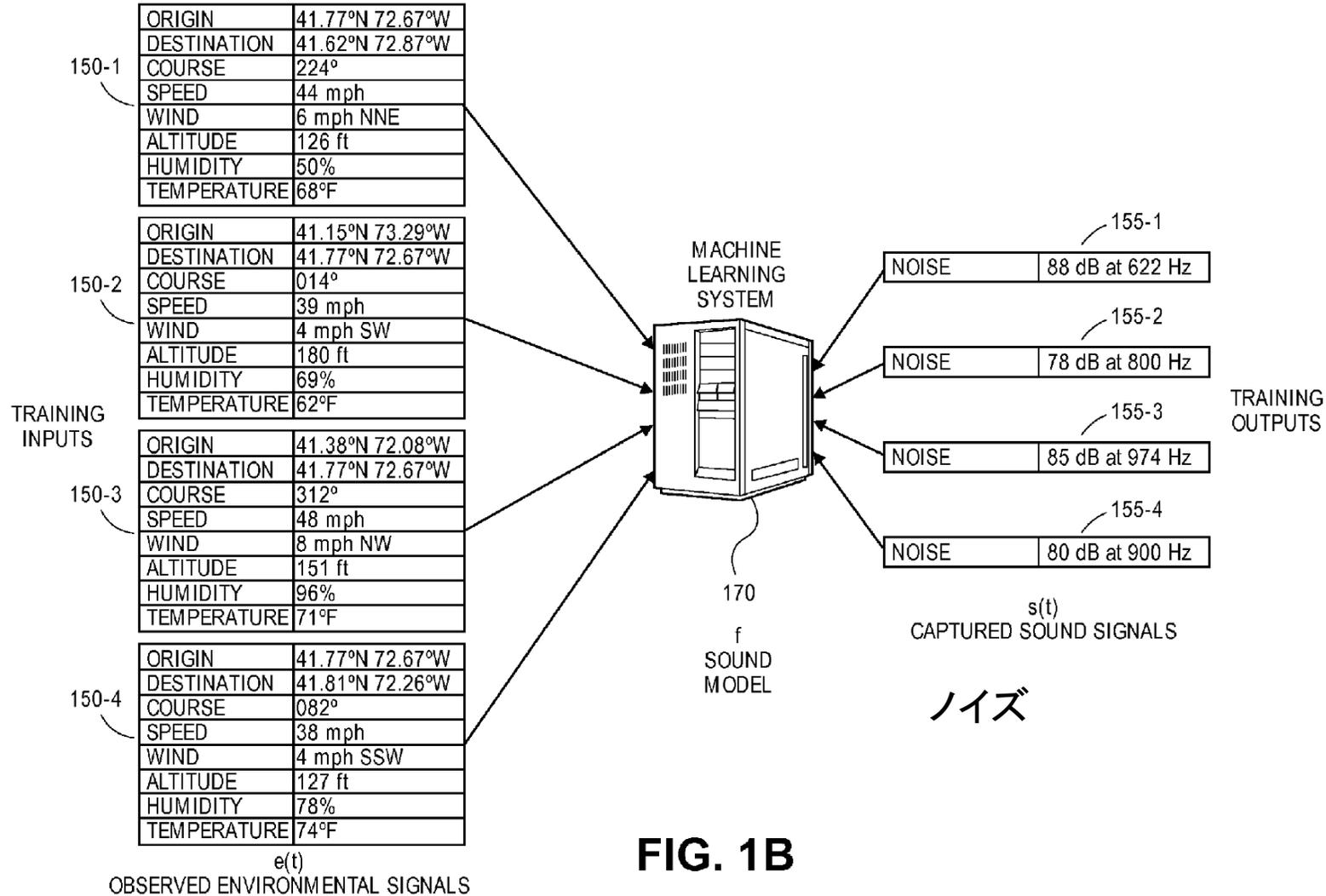
## 騒音

- 音圧レベル、周波数

機械学習を用いて騒音を予測する

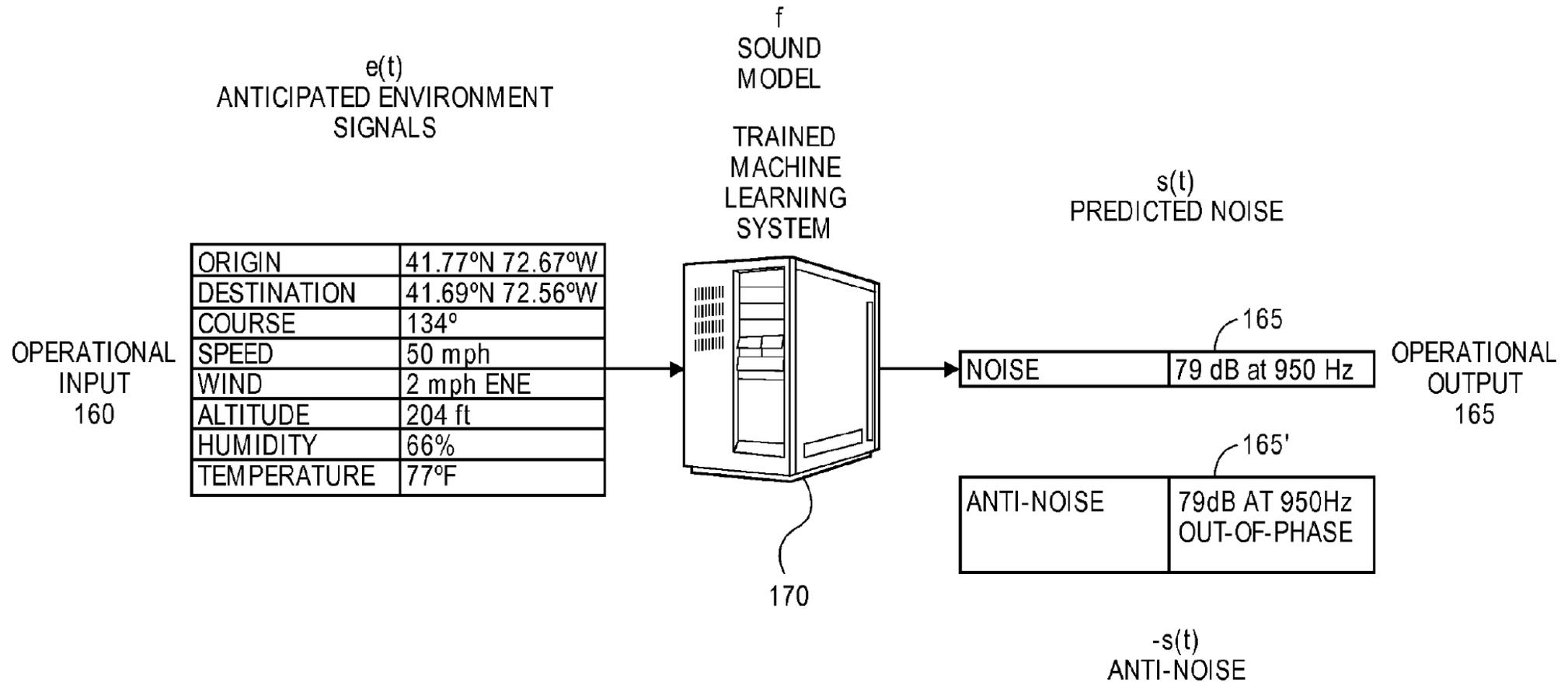
# Amazon特許 ノイズキャンセリングドローン

環境特性  
動作特性



大量の環境特性、動作特性、ノイズの訓練データからAIモデルをトレーニングする。

# Amazon特許 ノイズキャンセリングドローン



## AIモデルが完成

飛行時の環境特性、動作特性をAIモデルに入力し、ノイズを予測  
予測したノイズと逆位相のノイズを生成し、ノイズをキャンセルする

ロータノイズ

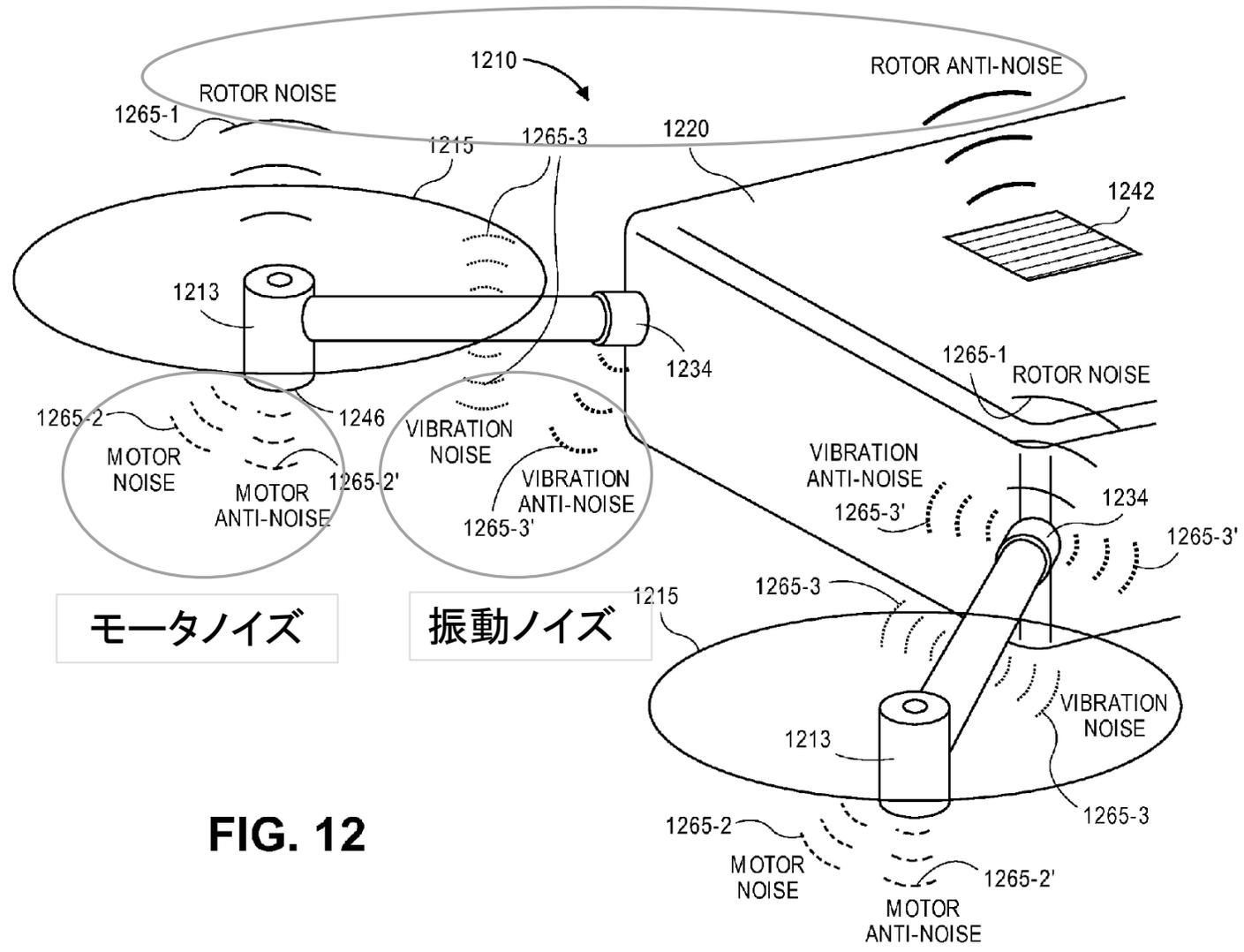
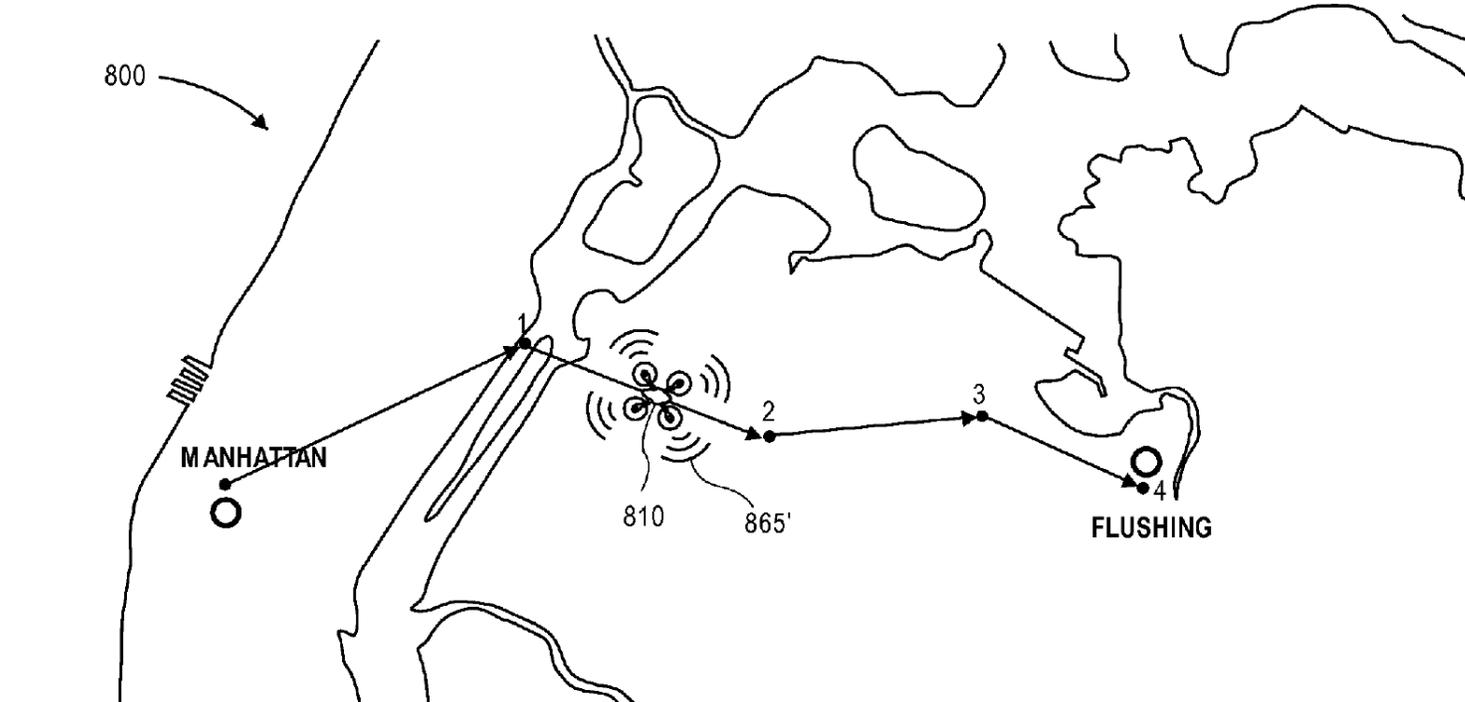


FIG. 12

# Amazon特許 ノイズキャンセリングドローン

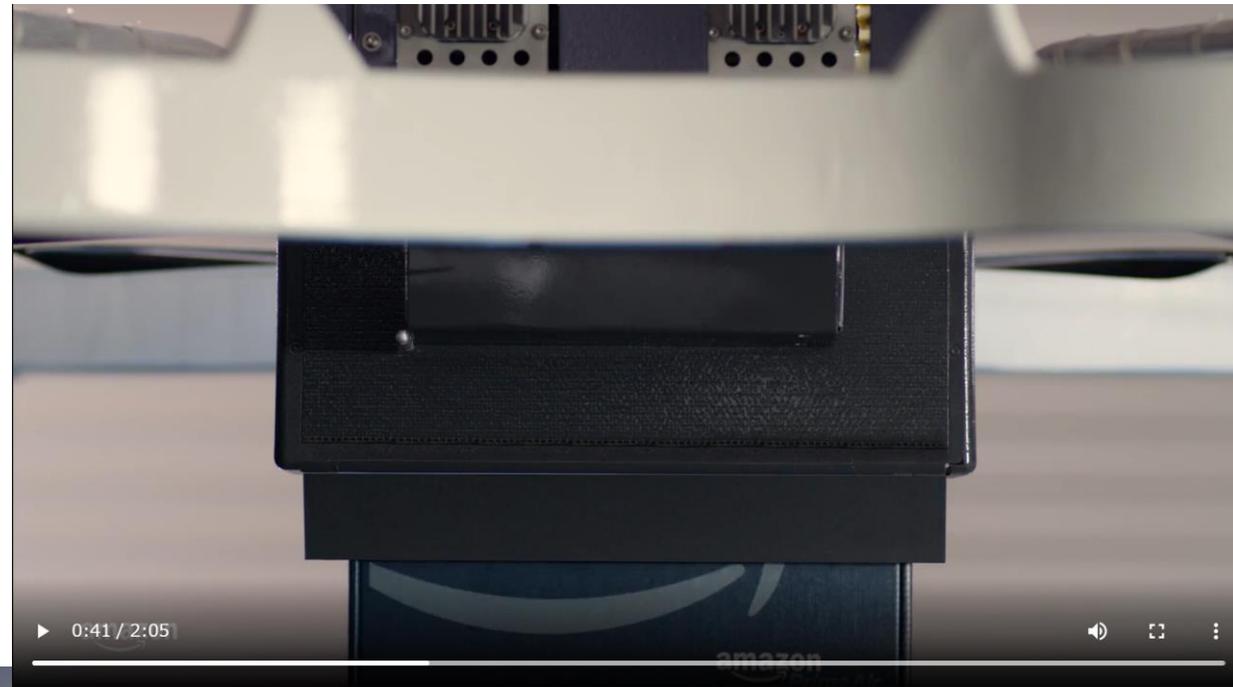
飛行ルートが予め決定している場合、経路の各拠点におけるノイズを予測できる。

予測したノイズに応じてノイズキャンセリング処理を行う。



	ORIGIN	WAYPOINT 1	WAYPOINT 2	WAYPOINT 3	DESTINATION
COORDINATES	40.75°N 73.99°W	40.78°N 73.94°W	40.77°N 73.90°W	40.77°N 73.87°W	40.76°N 73.85°W
COURSE	051°	108°	90°	123°	
SPEED	26 mph	28 mph	25 mph	23 mph	
WIND	10 mph NNW	5 mph S	7 mph W	12 mph SE	15 mph SW
ALTITUDE	0 ft	315 ft	398 ft	380 ft	0 ft
HUMIDITY	28%	32%	34%	24%	29%
TEMPERATURE	58°F	56°F	56°F	60°F	55°F
PREDICTED NOISE	112 dB at 775 Hz	76 dB at 680 Hz	99 dB at 880 Hz	134 dB at 770 Hz	100 dB at 660 Hz

## Amazon特許 ノイズキャンセリングドローン



## Amazon Prime Airサービス

2020年8月31日、米連邦航空局（FAA）からドローンを用いた「プライムエア」サービスの商用化に必要な認可を取得  
2Kgまでの商品を30分以内に配送



配送ボックスは機体の下部に搭載される

日本経済新聞HPより2020年12月31日

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO63277130R00C20A9000000>

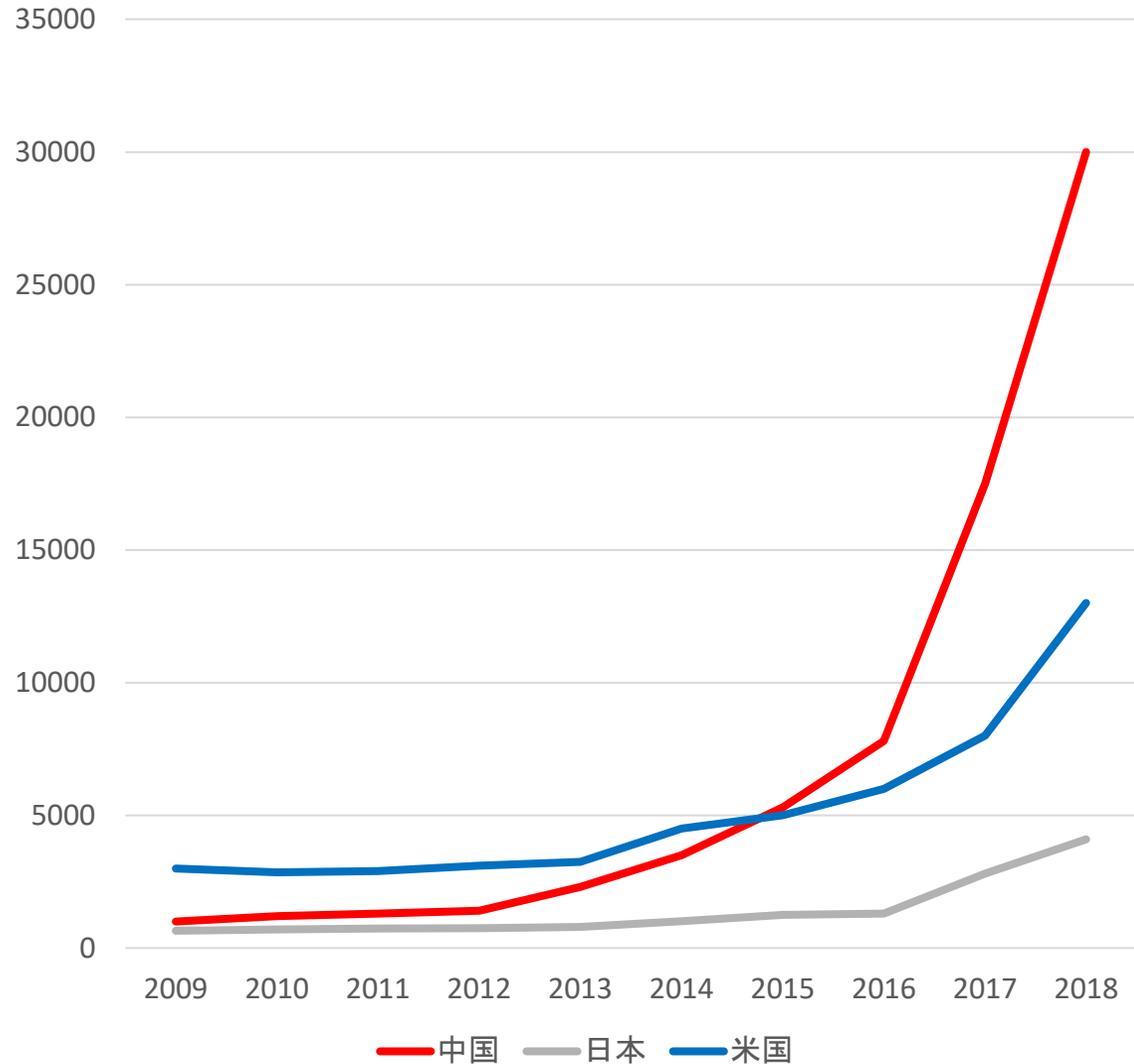
Amazon Prime Air HPより2020年12月31日 <https://www.amazon.com/Amazon-Prime-Air/b?ie=UTF8&node=8037720011>



# AI特許訴訟

# AI特許訴訟

AI関連特許公開件数



米国、中国を中心にAI特許出願が急増している。

また様々なビジネスにおいてAI技術の実装が進められている。

AIのビジネスへの実装が進むにつれて問題となるのがAI特許に対する特許権侵害である。

米国ではAI特許訴訟が各地で発生し始めている。

Xerox社の研究組織であるPalo Alto Research Center(PARC)社が、Facebook社を投稿文書の信頼性を判断するAI特許を侵害したとして、米国カリフォルニア州連邦地方裁判所に提訴

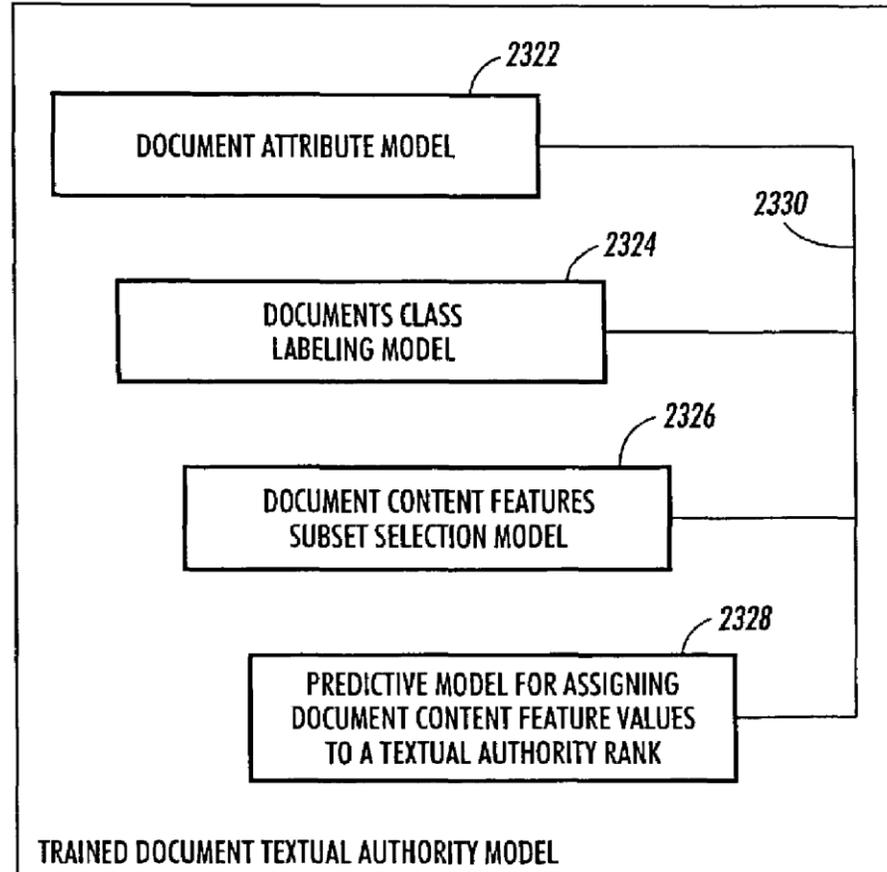
出典: 日本経済新聞2019年3月10日

特許権者 PARC

出願日 2002年9月3日

登録日 2007年1月23日

登録番号 US7167871



大規模な異種ドキュメントコレクション内のドキュメントの信頼性の格付け、推定、および並べ替えのためのシステムと方法

文書コンテンツの特徴量を決定し、特徴量を機械学習モデルに入力することによって文書コンテンツの信頼性を判断する技術である。

文書コンテンツに不正がないか、権威者によるものか等を機械学習モデルを学習させることによって判断する。

871特許のクレーム1は以下のとおりである。

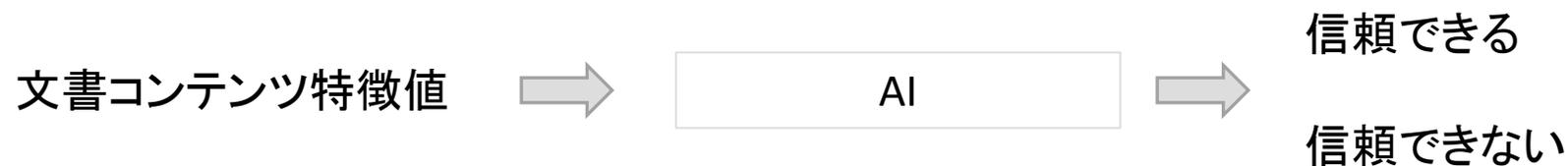
1. 複数の文書コンテンツ特徴を有する文書の権威性を決定するための方法であって、

文書内のテキストコンテンツに基づいて、主題に関する情報を提供する文書の文書コンテンツ特徴値のセットを決定し、

訓練された文書テキスト権威モデルを使用して、決定された文書コンテンツ特徴値のセットに基づいて、文書の権威性を決定し、

ここで、権威性を決定することは、文書の信頼性を決定することを含み、信頼性は、文書で提供されるような情報が主題に関して信頼できるかどうかを示し、

文書に関連して決定された権威性を出力する。



# Machine Learning, Fact-Checkers and the Fight Against False News

April 8, 2018  
Dan Zigmond, Director of Analytics, News Feed



PARCは、Facebookのサーバ及びアプリが871特許、機械学習によりユーザのイベントへの応答を決定する米国特許US9208439、及び、その他の特許を侵害するとして米国カリフォルニア州連邦地方裁判所に提訴

訴状によれば、Facebookが、ソーシャルメディアプラットフォームとニュースフィードのコンテンツを評価する際に、機械学習を用いたツールを設計し、実装し、使用しているというものである。

Facebookには、虚偽のニュース等が投稿されることがあり、人手でのチェックに代えてAIを用いたニュースの真偽判断が行われている。当該サービスに対する差し止めと損害賠償を求める特許権侵害訴訟が提起された。

# ご質問

ご質問：[hideto@knpt.com](mailto:hideto@knpt.com)

河野特許事務所 所長弁理士 河野英仁まで



Eight名刺データ